

たぶんかきょうせい
多文化共生についての

しみんあんけーとけっか
市民アンケート結果

にほんじんしみん
(日本人市民)

ねん がつばん
2024年01月版

もくじ 目次

ちょうさ がいよう	1 調査の概要	1
ちょうさけっか	2 調査結果.....	2
	(1) あなた自身のことについて.....	2
① 問1 せいべつ	性別	2
② 問2 ねんれい	年齢	3
③ 問3 きょじゅうちく	居住地区	4
④ 問4 あんじょうし ざいじゅうねんすう	安城市での在住年数	5
⑤ 問5 しごと	仕事	6
⑥ 問6 どうきよかぞく	同居家族.....	7
	(2) 外国での経験や外国人の知り合いについて	8
① 問7 がいこく せいかつ けいけん うむ	外国で生活した経験の有無	8
② 問7-1 せいかつ くに ちいき	生活した国・地域	9
③ 問7-2 せいかつ きかん	生活した期間.....	10
④ 問8 みぢか がいこくじん	身近にいる外国人	11
⑤ 問9 にちじょうてき かいわ がいこくご うむ	日常的な会話ができる外国語の有無	12
⑥ 問9-1 にちじょうてき かいわ がいこくご	日常的な会話ができる外国語.....	13
	(3) 最近の外国人とのコミュニケーションについて.....	14
① 問10 がいこくじん こみゆにけーしょん うむ	外国人とのコミュニケーションの有無.....	14
② 問10-1 がいこくじん こみゆにけーしょん ないよう	外国人とのコミュニケーションの内容	15
③ 問10-2 がいこくじん いしそつう ほうほう	外国人との意思疎通の方法.....	16
④ 問11 こま がいこくじん み	困っている外国人を見かけたら、どうするか	17
⑤ 問12 こま がいこくじん こえ ばあい ふあん	困っている外国人に声をかける場合、不安なこと	18
⑥ 問13 にほんご し	「やさしい日本語」を知っているか.....	19
⑦ 問13-1 にほんご し まな	「やさしい日本語」を知りたい、学びたいか	20

(4) 地域 <small>ちいき</small> との関わり <small>かか</small> について	21
①問14 町内会 <small>ちうないかい</small> ・自治会 <small>じちかい</small> への加入 <small>かにゆうじようきよう</small> 状況	21
②問14-1 町内会 <small>ちうないかい</small> ・自治会 <small>じちかい</small> 未加入 <small>みかにゆう</small> の理由 <small>りゆう</small>	22
③問15 参加 <small>さんか</small> したことがある地域 <small>ちいきぎようじ</small> 行事	23
④問15-1 地域 <small>ちいきぎようじ</small> 行事 <small>さんか</small> に参加 <small>りゆう</small> したことがない理由	24
⑤問16 地域 <small>ちいき</small> の行事 <small>ぎようじ</small> への参加 <small>さんか</small> 意向 <small>いこう</small>	25
⑥問17 地域 <small>ちいき</small> の行事 <small>ぎようじ</small> 等 <small>な</small> への外国人 <small>がいこくじん</small> 市民 <small>しみん</small> の参加 <small>さんか</small> について	26
(5) 防災 <small>ぼうさい</small> について	27
①問18 避難所 <small>ひなんじよ</small> 等 <small>な</small> の認知 <small>にんちど</small> 度	27
②問19 「ハザードマップ」 <small>はざーどまっぷ</small> 等 <small>な</small> の認知 <small>にんちど</small> 度	28
③問20 防災 <small>ぼうさい</small> 、避難訓練 <small>ひなんくんれん</small> の参加 <small>さんか</small> の有無 <small>うむ</small>	29
④問21 災害 <small>さいがい</small> への準備 <small>じゆんび</small> 状況 <small>じようきよう</small>	30
⑤問22 災害発生 <small>さいがいはっせい</small> 時の地域 <small>ちいき</small> 活動 <small>かつどう</small> への外国人 <small>がいこくじん</small> 市民 <small>しみん</small> の参加 <small>さんか</small> について	31
(6) 外国人 <small>がいこくじん</small> にとっての安城市 <small>あんじようし</small> の暮らし <small>く</small> やすさについて	32
①問23 外国人 <small>がいこくじん</small> 市民 <small>しみん</small> にとっての安城市 <small>あんじようし</small> の暮らし <small>く</small> やすさについて	32
(7) 多文化共生 <small>たぶんかきようせい</small> の取組 <small>とりくみ</small> について	33
①問24 「多文化共生」 <small>たぶんかきようせい</small> という言葉 <small>ことば</small> の理解 <small>りかい</small>	33
②問25 外国人 <small>がいこくじん</small> 市民 <small>しみん</small> のために実践 <small>じっせん</small> していること	34
③問26 外国人 <small>がいこくじん</small> 市民 <small>しみん</small> にも努力 <small>どりよく</small> して欲しい <small>ほ</small> こと	35
④問27 安城市 <small>あんじようし</small> の外国人 <small>がいこくじん</small> 支援 <small>しえん</small> 、多文化共生 <small>たぶんかきようせい</small> の取組 <small>とりくみ</small> の利用 <small>りよう</small> ・認知 <small>にんち</small>	36
⑤問28 参加 <small>さんか</small> したい多文化共生 <small>たぶんかきようせい</small> の取組 <small>とりくみ</small>	37
⑥問29 多文化共生 <small>たぶんかきようせい</small> を進める <small>すす</small> ため必要な取組 <small>ひつよう</small>	38

1 調査の概要

図表1-1 調査の概要

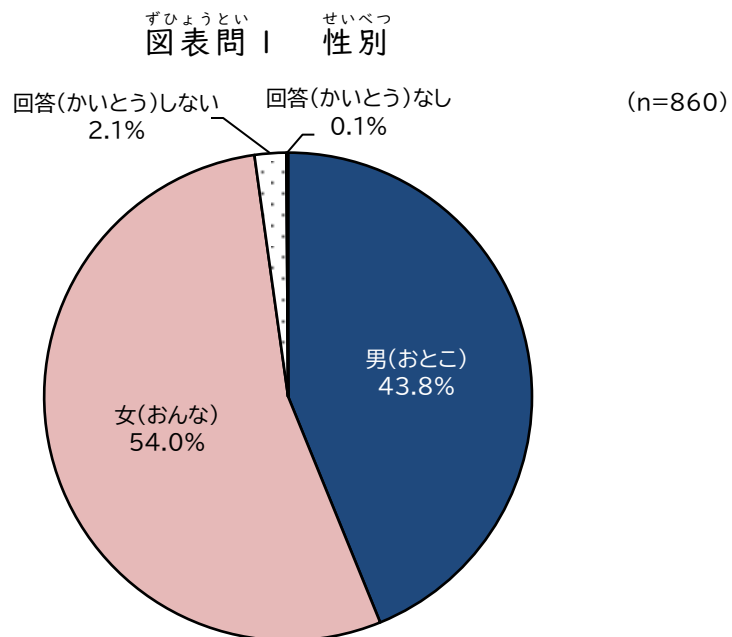
くば ひと 配った人	あんじょうし す さいいじょう にほんじんしみん 安城市に住む 16歳以上の日本人市民
しら 기간 調べた期間	2023年11月13日～12月15日
くば かず 配った数・ あつ かず 集めた数	はいふすう けん かいしゅうすう けん かいしゅうりつ 配布数2,000件 回収数860件 (回収率43.0%) とど かず けん 届かなかった数：8件
こた ほうほう 答えた方法	かみ か こた けん 紙に書いて答えた403件 (46.9%) Webで答えた457件 (53.1%)

2 ちょうさけっか 調査結果

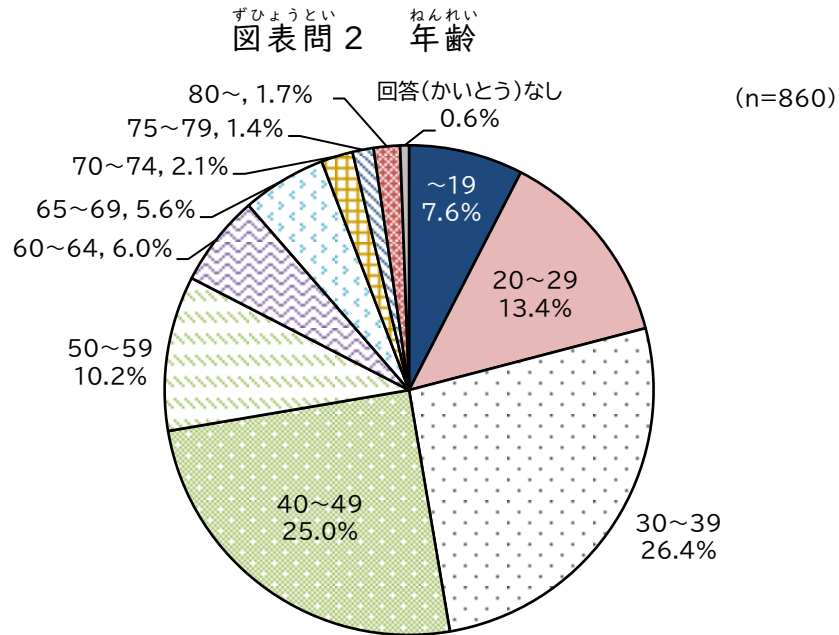
(1) あなた自身のことについて

① 問1 性別

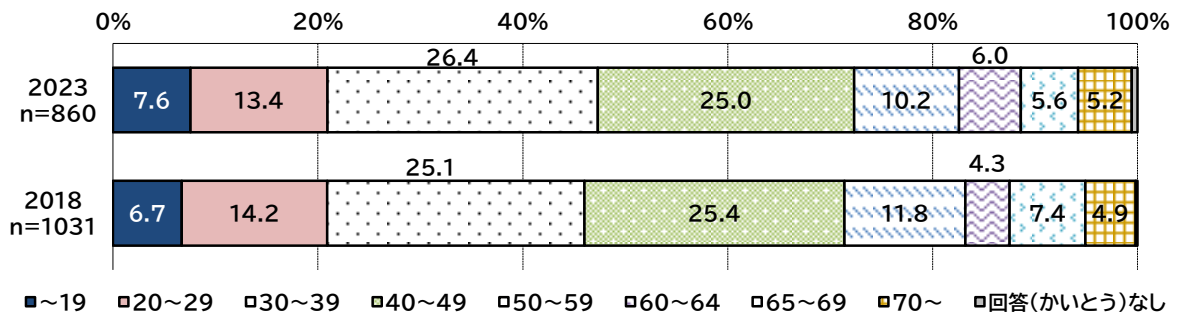
「女」の割合が最も高く 54.0%である。次いで、「男（43.8%）」、「回答しない（2.1%）」である。



② 問2 年齢



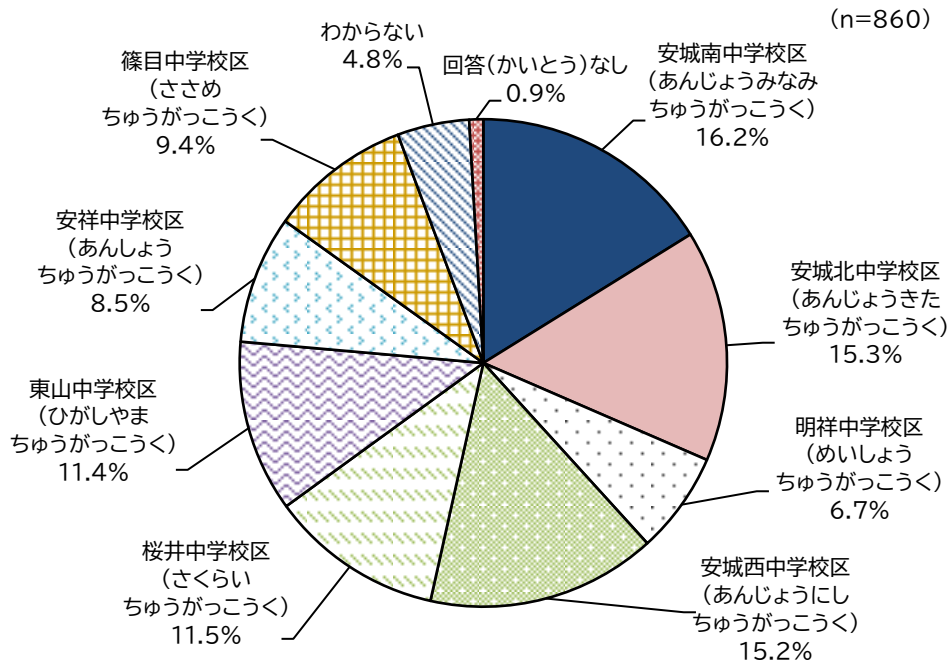
ねんちようさ ひかく
<2018年調査との比較>



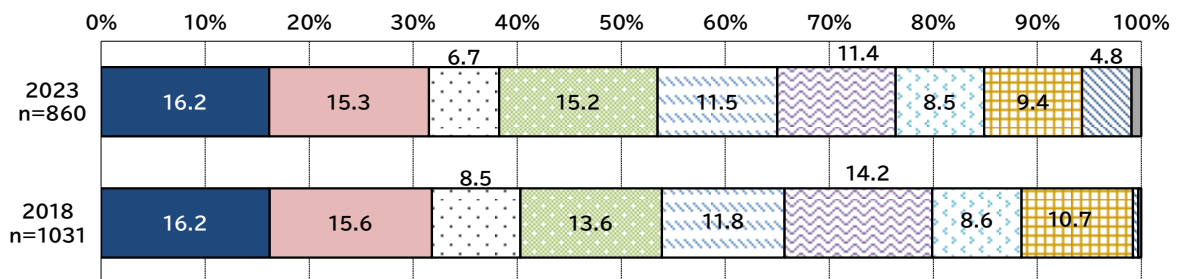
③ 問3 居住地区

「安城南中学校区」の割合が最も高く16.2%である。次いで、「安城北中学校区（15.3%）」、「安城西中学校区（15.2%）」である。

図表問3 居住地区



<2018年調査との比較>

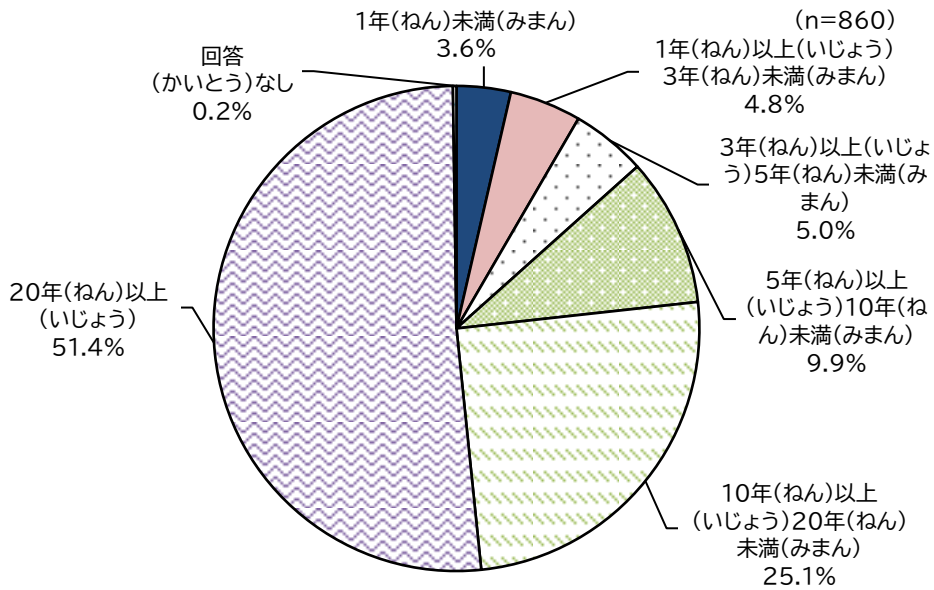


- 安城南中学校エリア (あんじょうみなみ ちゅうがっこうエリア)
- 安城北中学校エリア (あんじょうきた ちゅうがっこうエリア)
- 明祥中学校エリア (めいしょう ちゅうがっこうエリア)
- 安城西中学校エリア (あんじょうにし ちゅうがっこうエリア)
- 桜井中学校エリア (さくらい ちゅうがっこうエリア)
- 東山中学校エリア (ひがしやま ちゅうがっこうエリア)
- 安祥中学校エリア (あんしょう ちゅうがっこうエリア)
- 篠田中学校エリア (ささめ ちゅうがっこうエリア)
- わからない

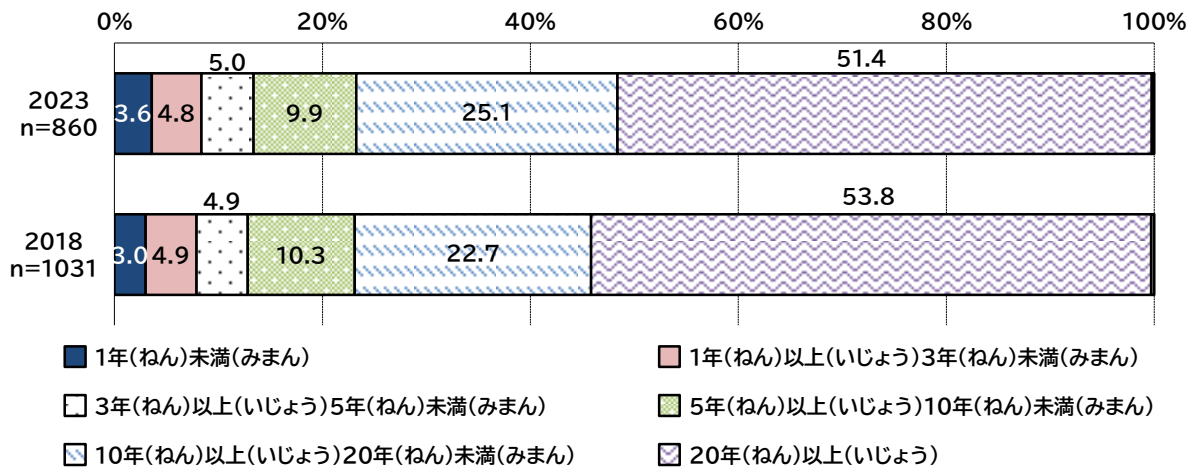
④ 問4 安城市での在住年数

「20年以上」の割合が最も高く51.4%である。次いで、「10年以上20年未満（25.1%）」、「5年以上10年未満（9.9%）」である。

図表問4 安城市での在住年数



<2018年調査との比較>

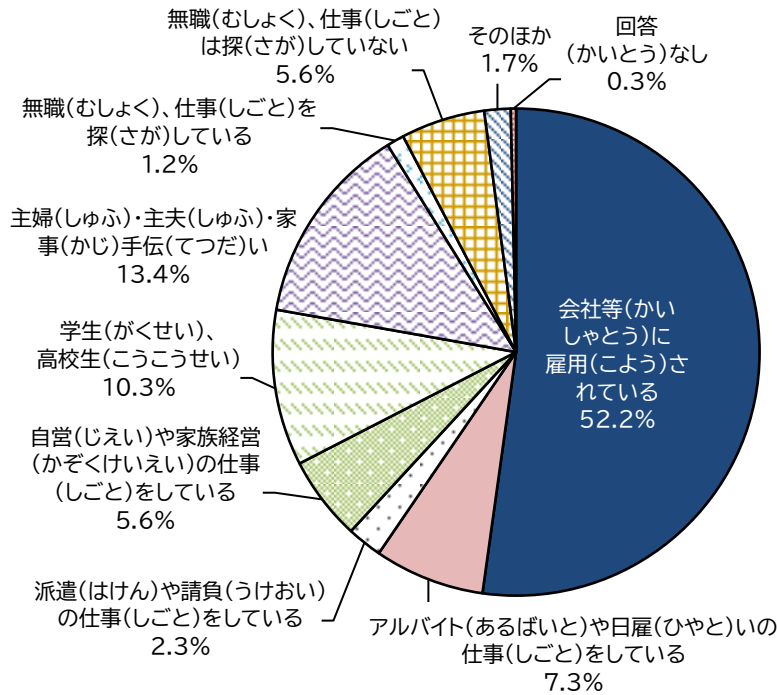


⑤ 問5 仕事

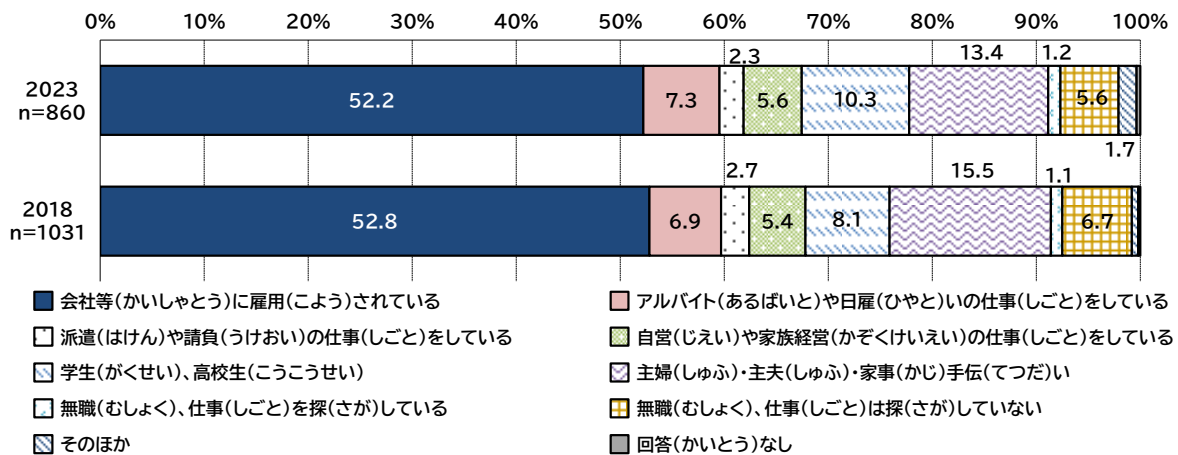
「会社等に雇用されている」の割合が最も高く52.2%である。次いで、「主婦・主夫・家事手伝い（13.4%）」、「学生、高校生（10.3%）」である。

図表問5 仕事

(n=860)



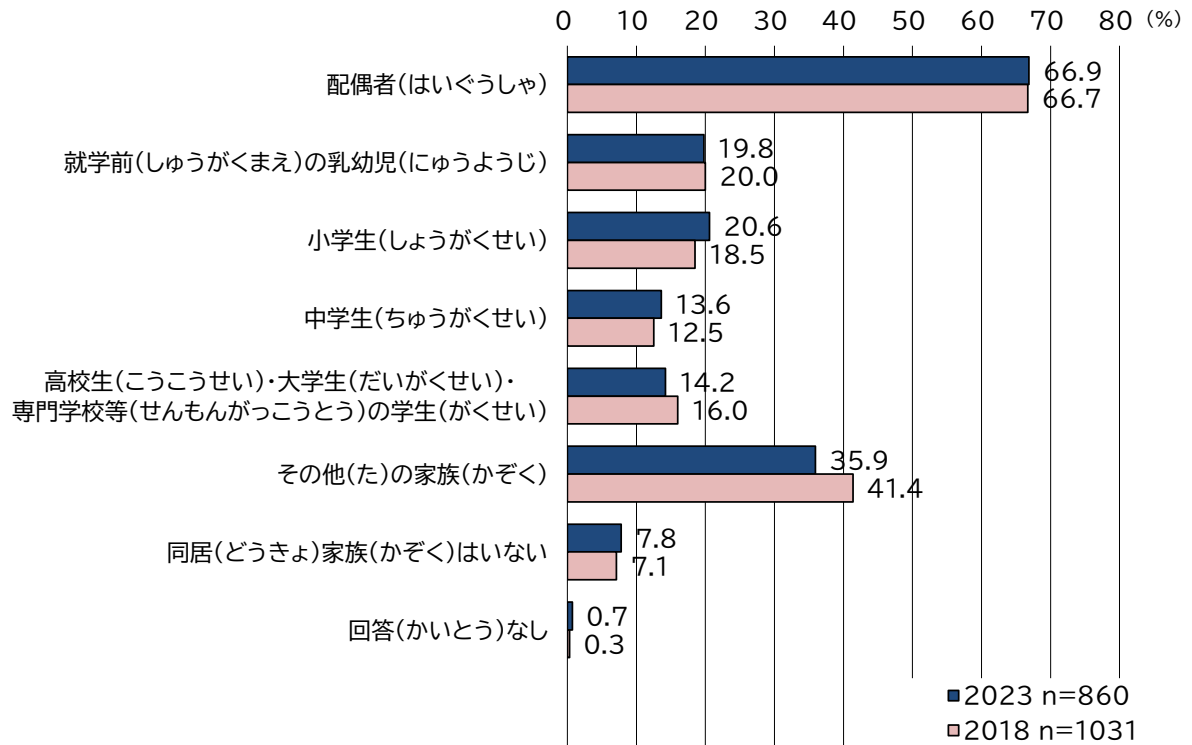
<2018年調査との比較>



⑥ 問6 同居家族

「配偶者」の割合が最も高く66.9%である。次いで、「その他の家族(35.9%)」、「小学生(20.6%)」である。

図表問6 同居家族

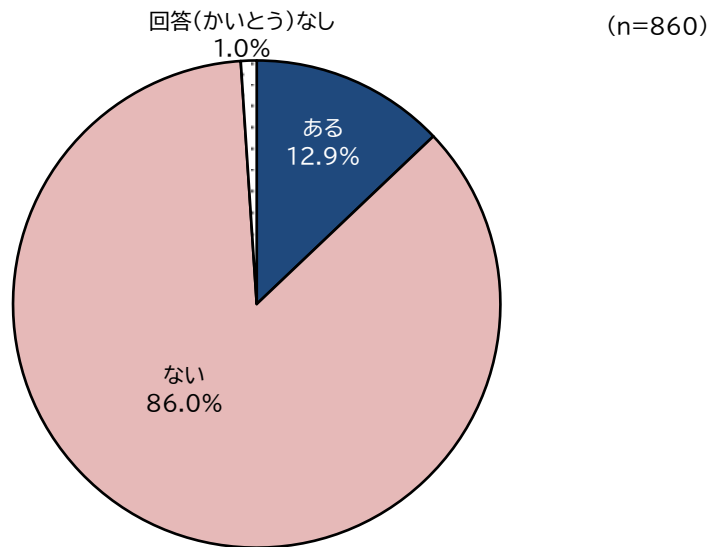


(2) 外国での経験や外国人の知り合いについて

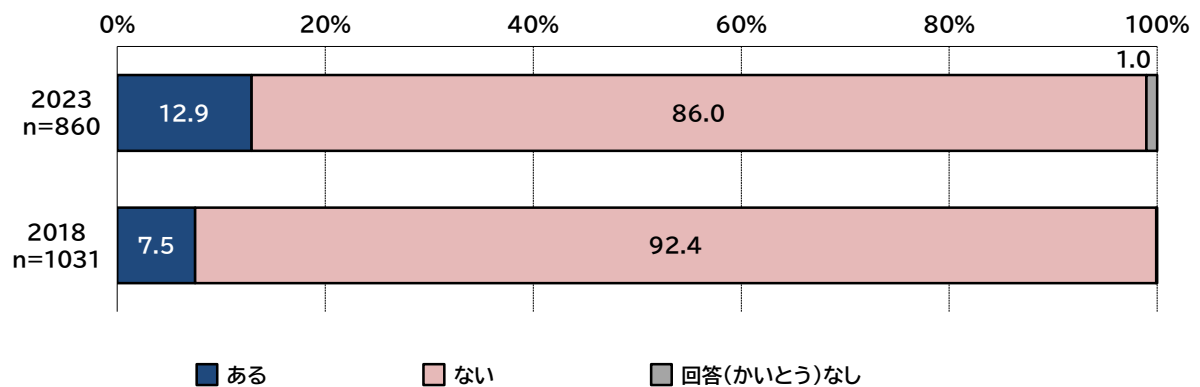
① 問7 外国で生活した経験の有無

「ない」の割合が最も高く 86.0%である。次いで、「ある (12.9%)」である。

図表問7 外国で生活した経験の有無



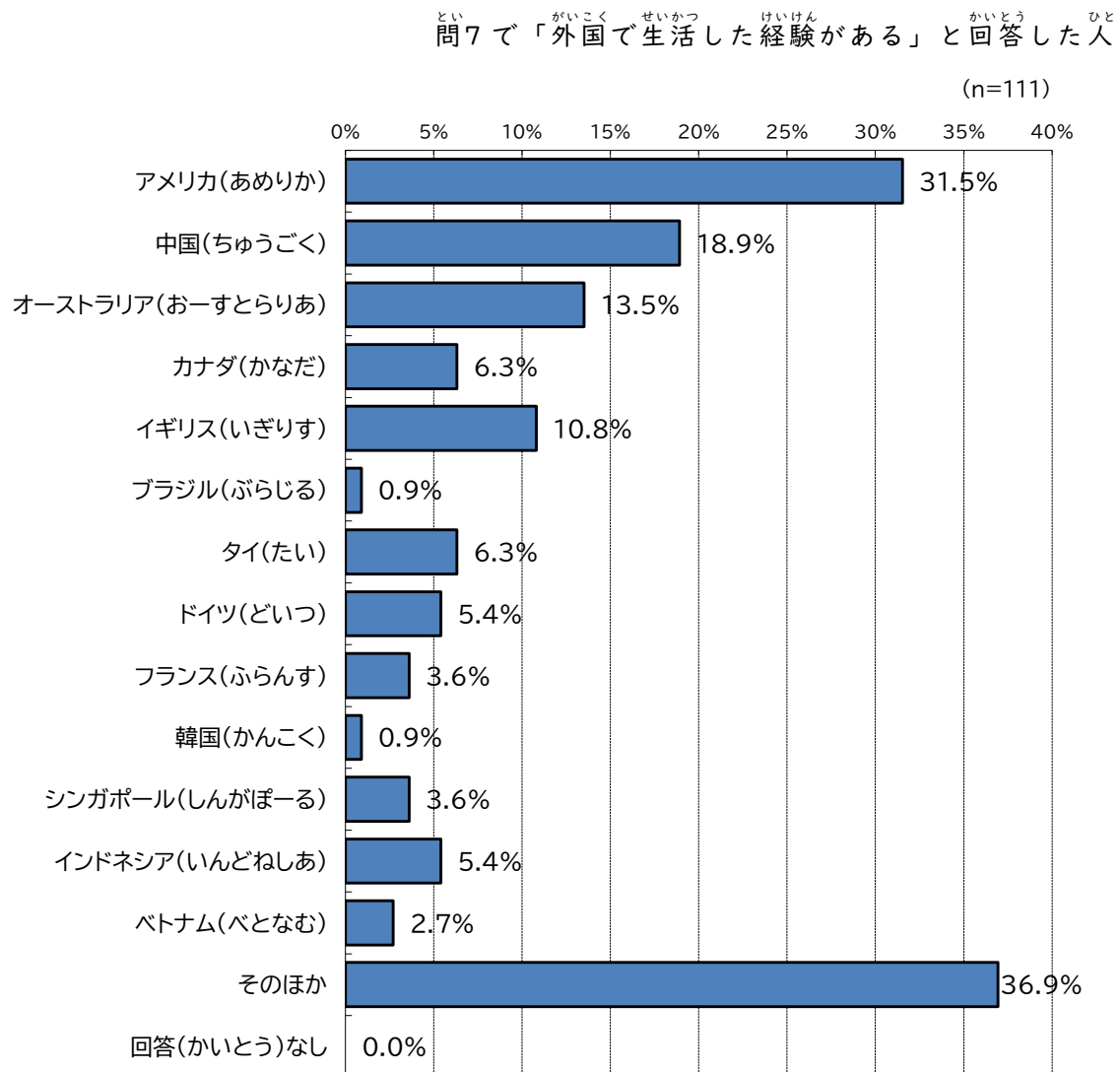
<2018年調査との比較>



② 問7-1 生活した国・地域

「そのほか」の割合が最も高く 36.9%である。次いで、「アメリカ (31.5%)」、「中国 (18.9%)」である。

図表問7-1 生活した国・地域

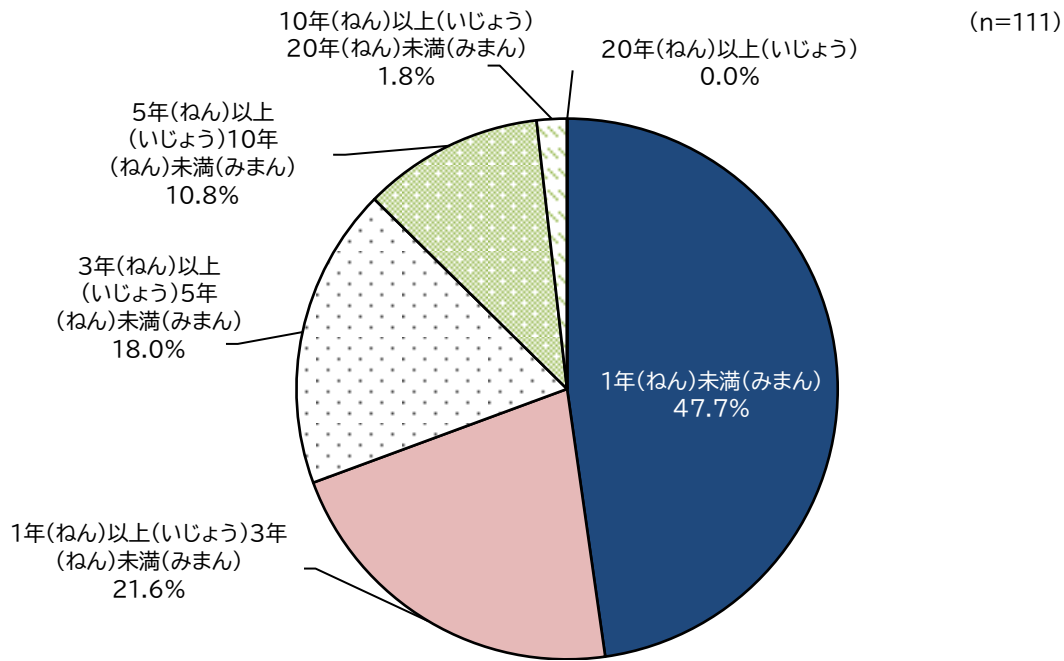


③ 問7-2 生活した期間

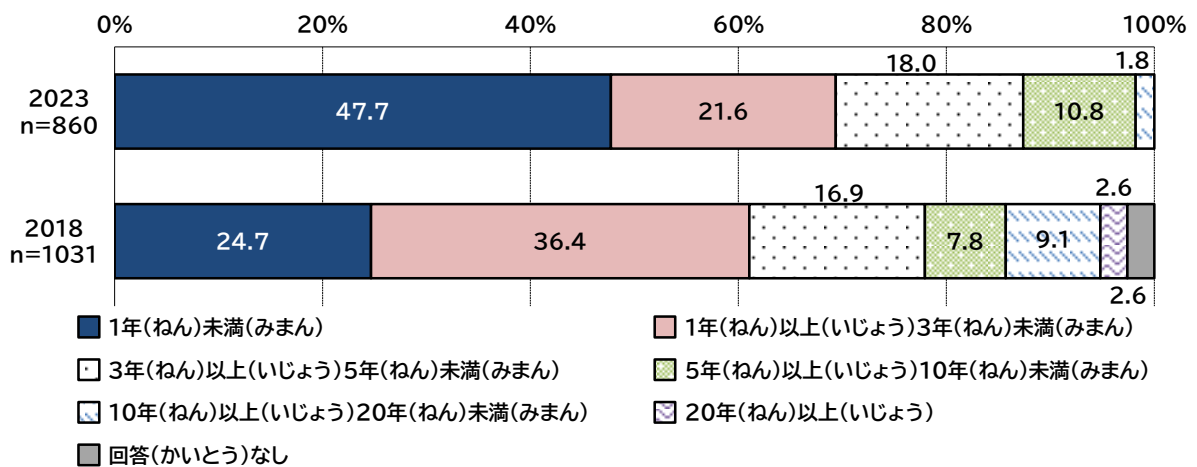
「1年未満」の割合が最も高く47.7%である。次いで、「1年以上3年未満（21.6%）」、「3年以上5年未満（18.0%）」である。

図表問7-2 生活した期間

問7で「外国で生活した経験がある」と回答した人 (n=111)



<2018年調査との比較>

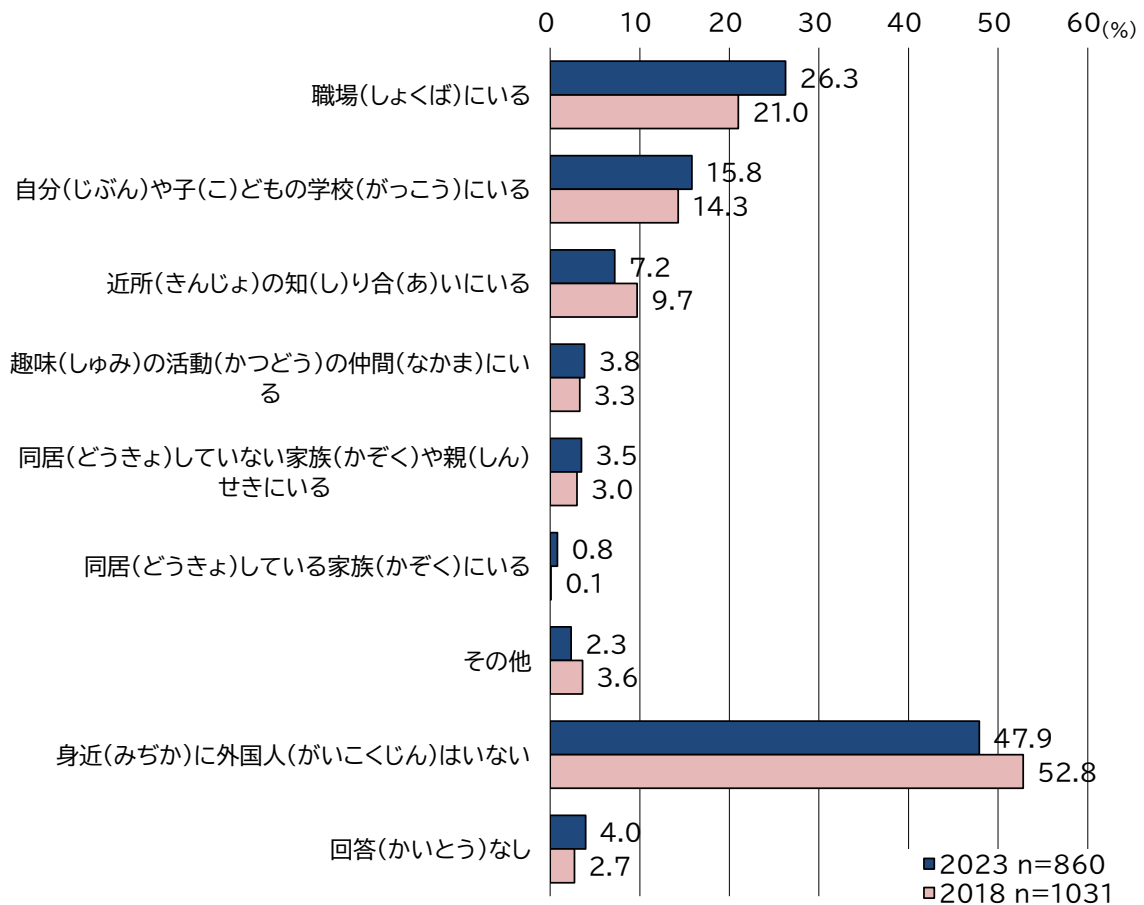


④ 問8 身近にいる外国人

「身近に外国人はいない」の割合が最も高く47.9%である。次いで、「職場にいる（26.3%）」、「自分や子どもの学校にいる（15.8%）」である。

図表問8 身近にいる外国人

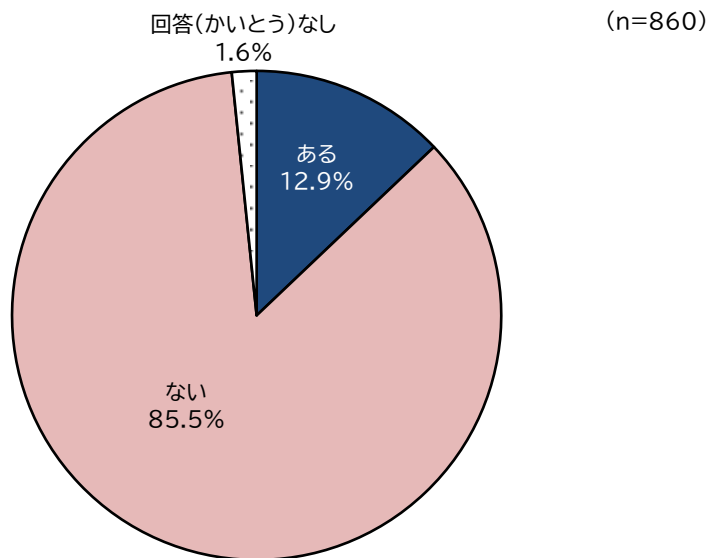
<2018年調査との比較>



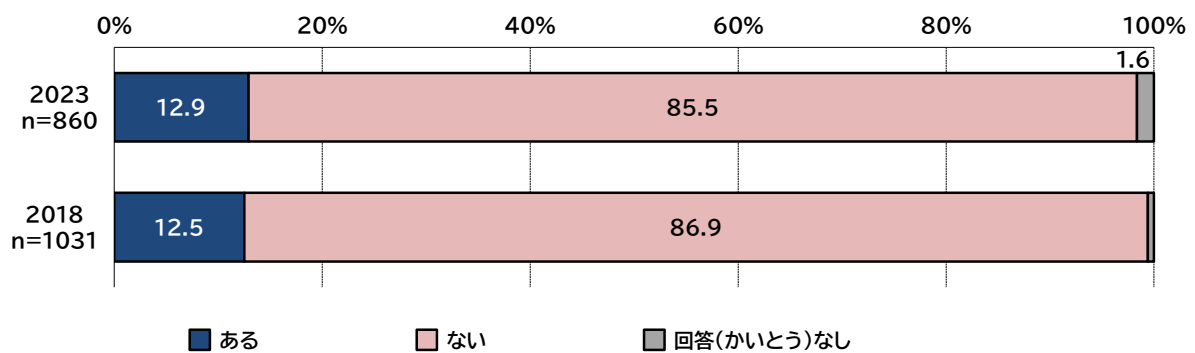
⑤ 問9 日常的な会話ができる外国語の有無

「ない」の割合が最も高く 85.5%である。次いで、「ある（12.9%）」である。

図表問9 日常的な会話ができる外国語の有無



<2018年調査との比較>



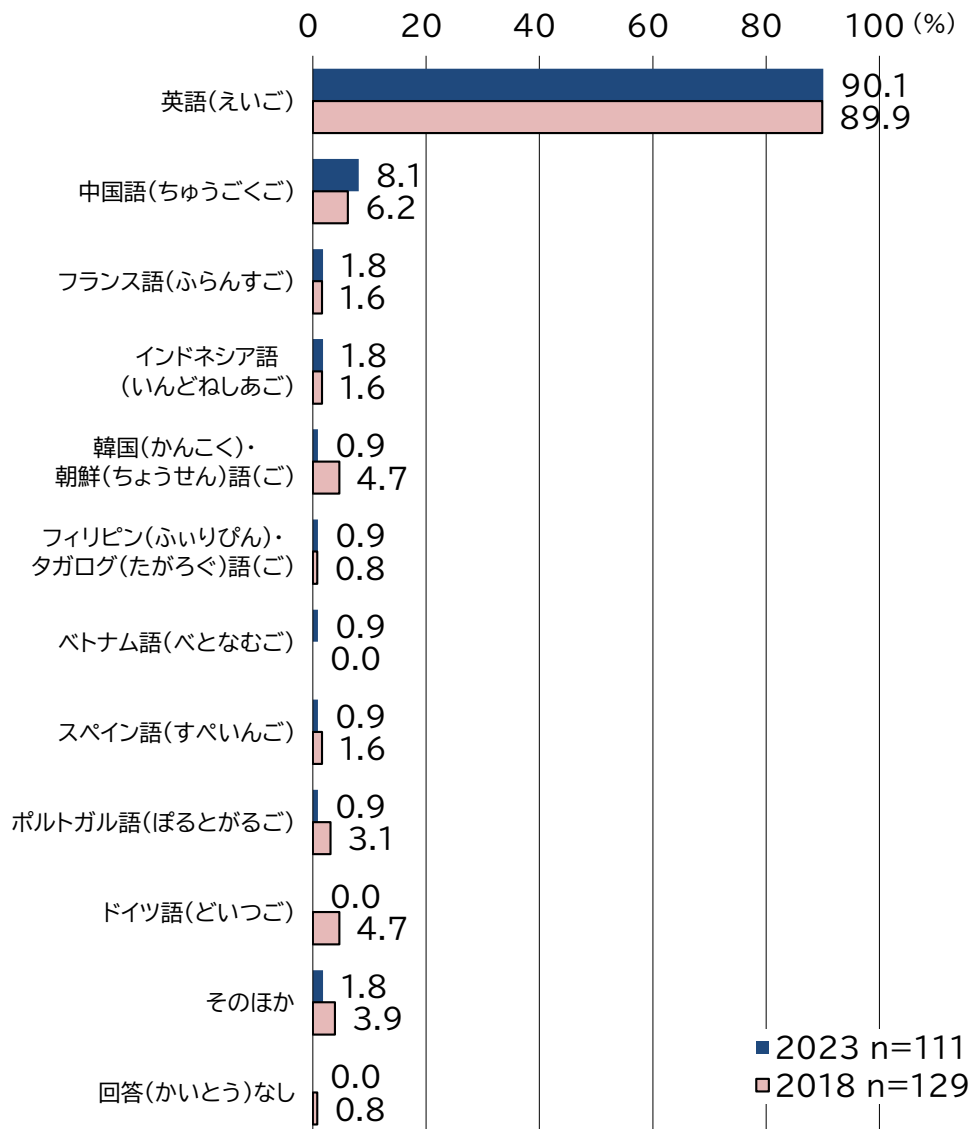
⑥ 問9-1 日常的な会話ができる外国語

「英語」の割合が最も高く90.1%である。次いで、「中国語（8.1%）」、「フランス語（1.8%）」、「インドネシア語（1.8%）」、「そのほか（1.8%）」である。

図表問9-1 日常的な会話ができる外国語

<2018年調査との比較>

問9で「日常的な会話ができる外国語がある」と回答した人

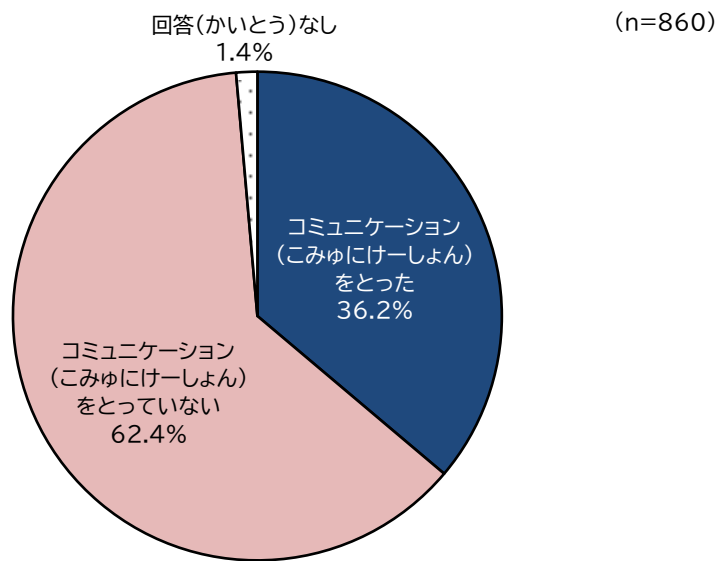


(3) 最近の外国人とのコミュニケーションについて

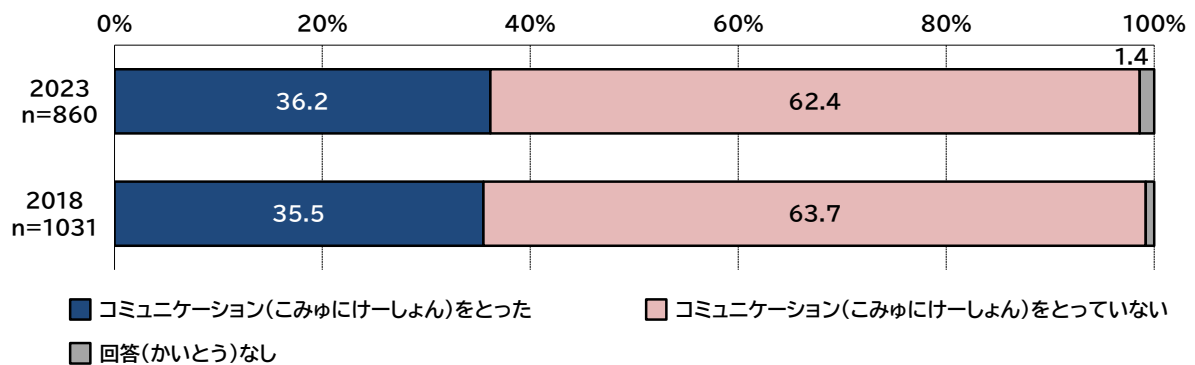
① 問10 外国人とのコミュニケーションの有無

「コミュニケーションをとっていない」の割合が最も高く62.4%である。次いで、「コミュニケーションをとった(36.2%)」である。

図表問10 外国人とのコミュニケーションの有無



<2018年調査との比較>



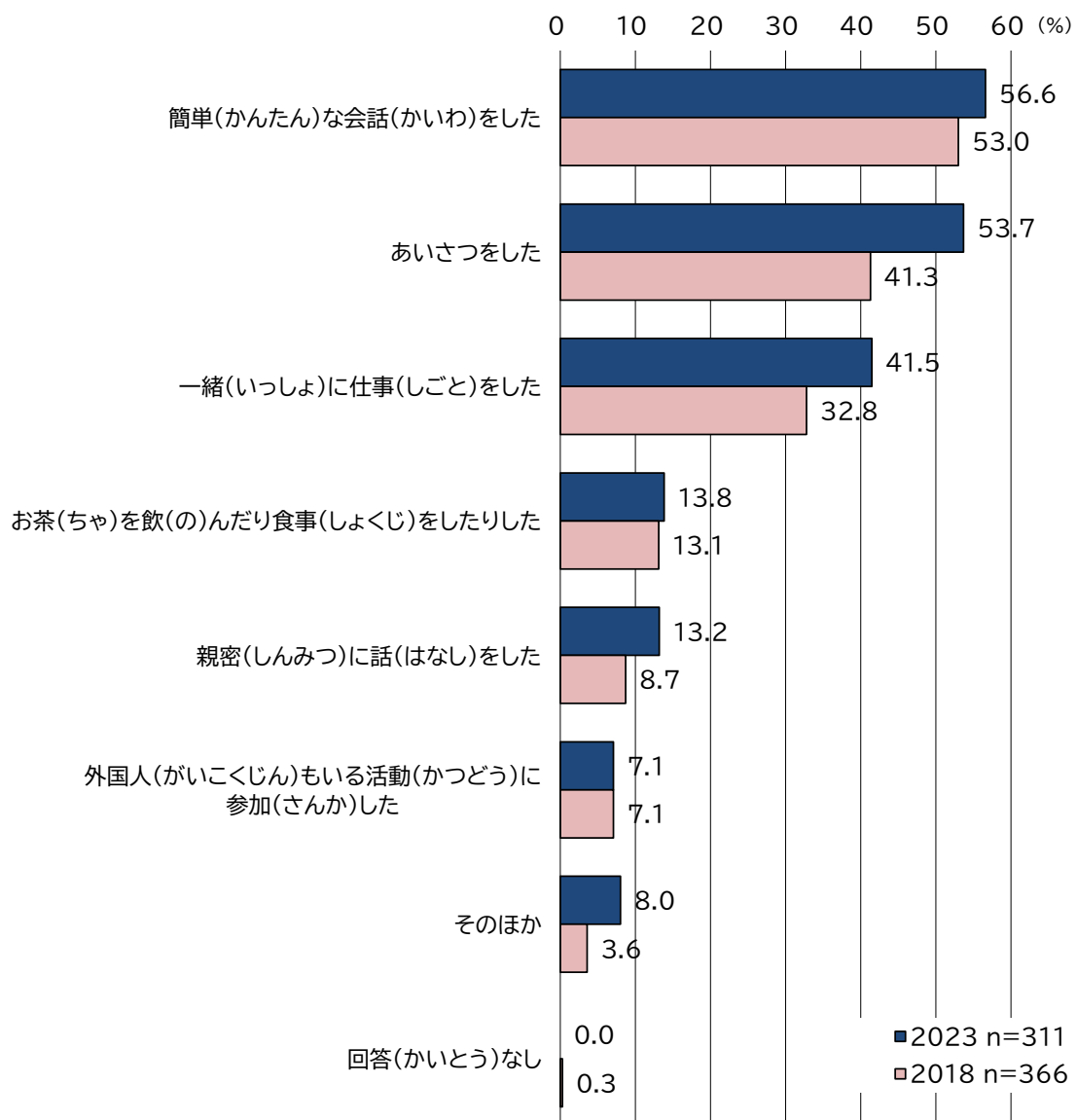
② 問10-1 外国人とのコミュニケーションの内容

「簡単な会話をした」の割合が最も高く56.6%である。次いで、「あいさつをした（53.7%）」、「一緒に仕事をした（41.5%）」である。

図表問10-1 外国人とのコミュニケーションの内容

<2018年調査との比較>

問10で「外国人とコミュニケーションをとった」と回答した人



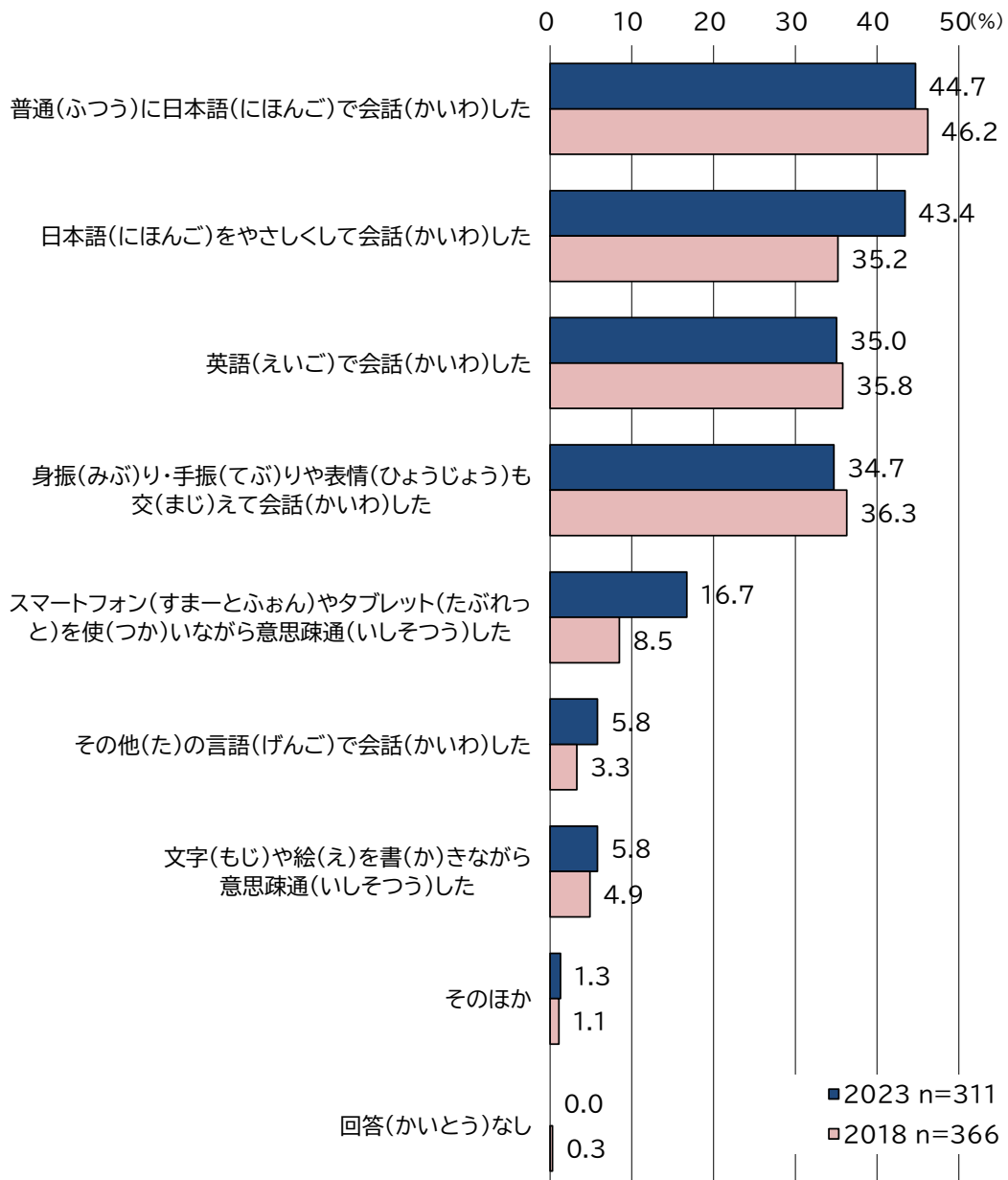
③ 問10-2 外国人との意思疎通の方法

「普通に日本語で会話した」の割合が最も高く44.7%である。次いで、「日本語をやさしくして会話した（43.4%）」、「英語で会話した（35.0%）」である。

図表問10-2 外国人との意思疎通の方法

<2018年調査との比較>

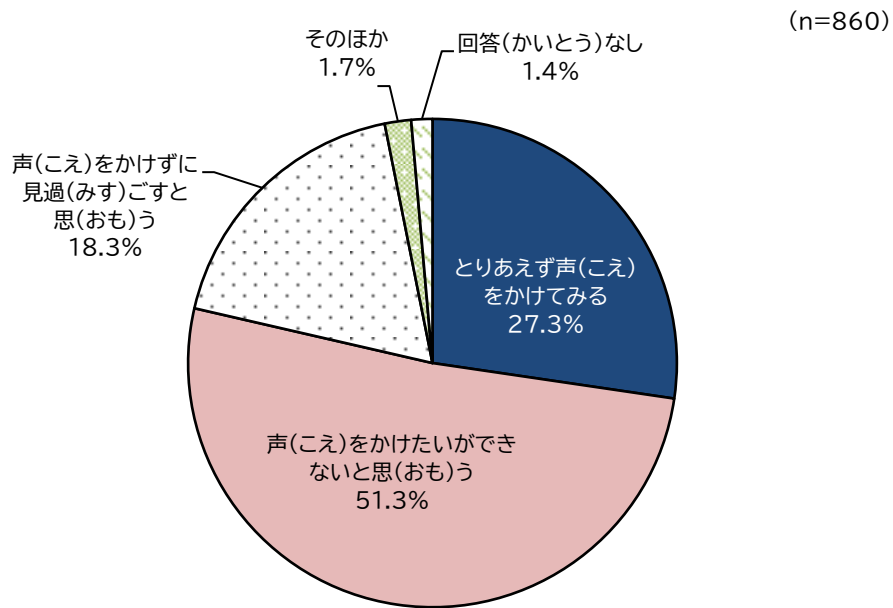
問10で「外国人とコミュニケーションをとった」と回答した人



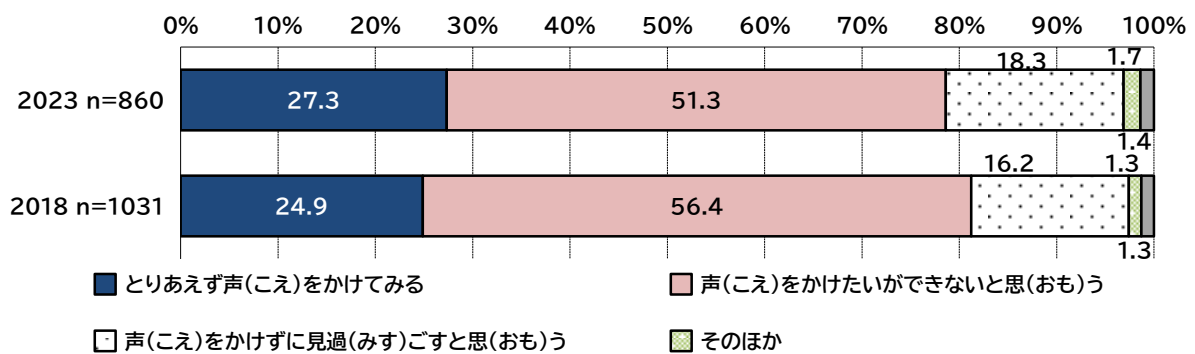
④ 問11 困っている外国人を見かけたら、どうするか

「声をかけたいができないと思う」の割合が最も高く51.3%である。次いで、「とりあえず声をかけてみる(27.3%)」、「声をかけずに見過ごすと思(おも)う(18.3%)」である。

図表問11 困っている外国人を見かけたら、どうするか



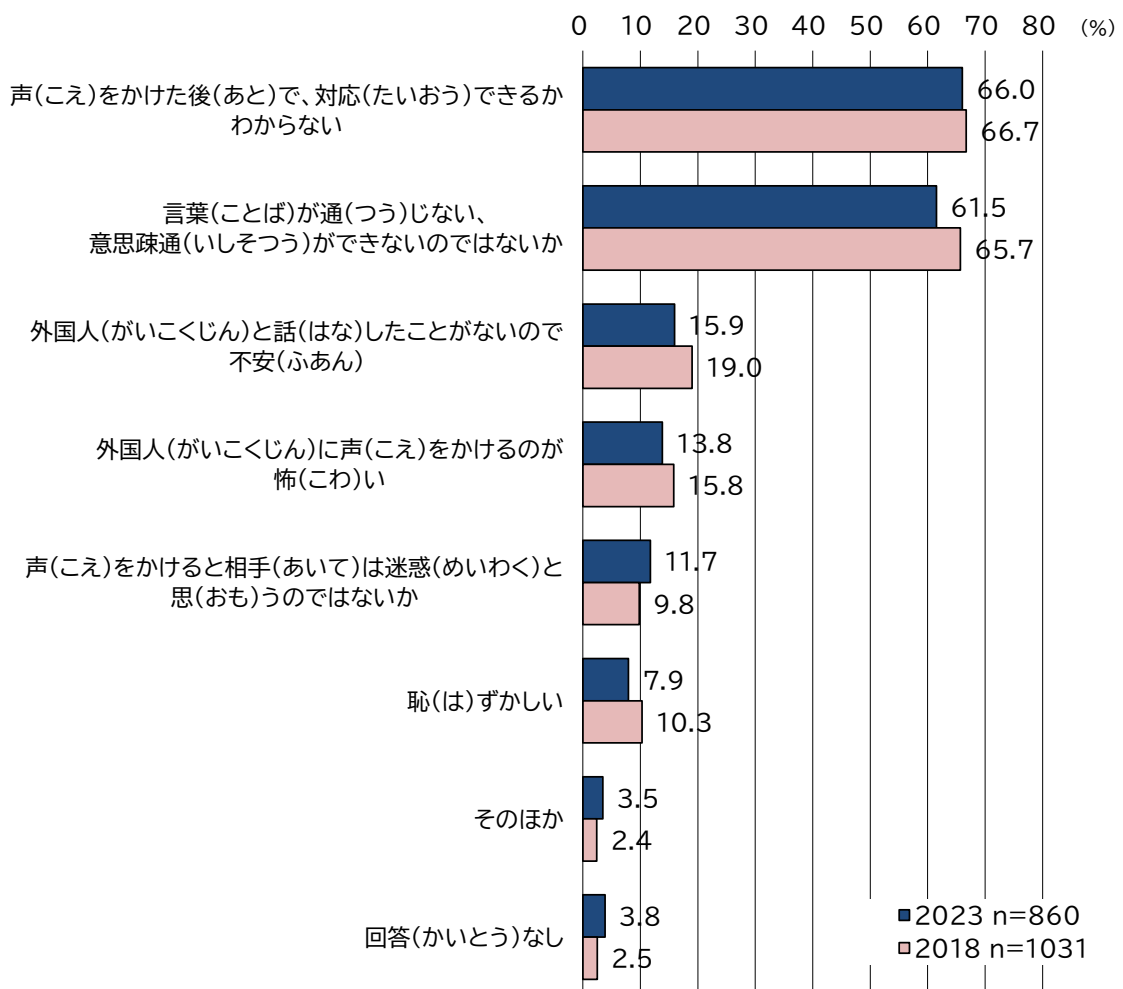
<2018年調査との比較>



⑤ 問12 困っている外国人に声をかける場合、不安なこと

「声をかけた後で、対応できるかわからない」の割合が最も高く66.0%である。次いで、「言葉が通じない、意思疎通ができないのではないかと不安(61.5%)」、「外国人と話したことがないので不安(15.9%)」である。

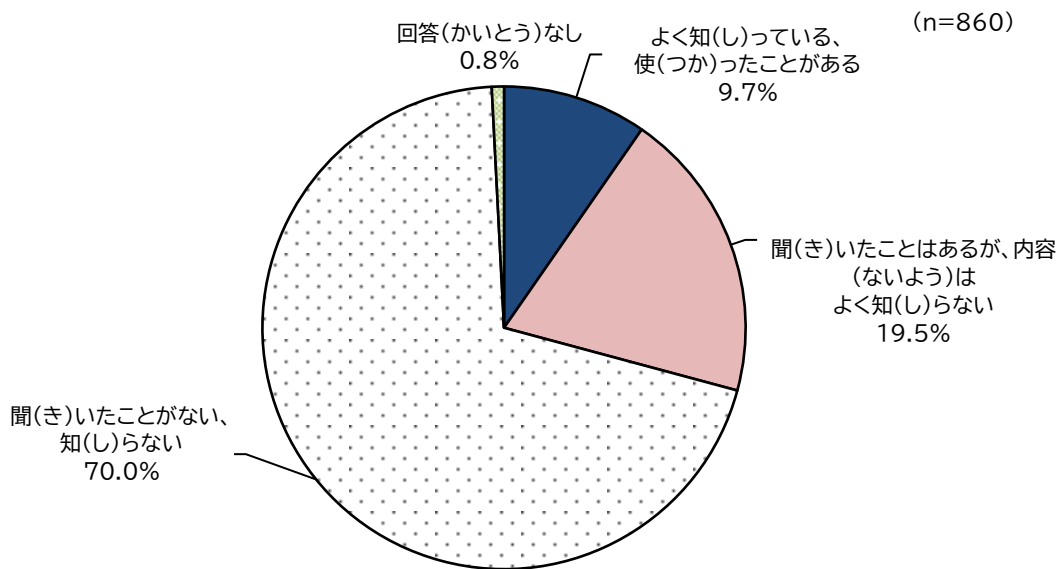
図表問12 困っている外国人に声をかける場合、不安なこと
 <2018年調査との比較>



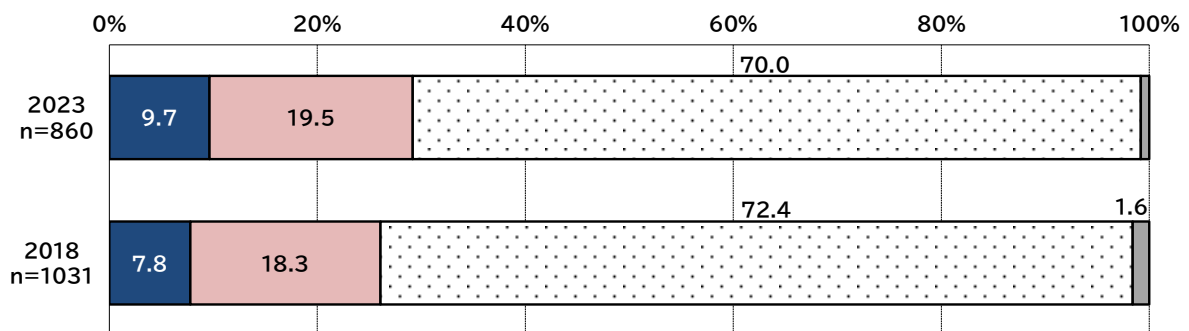
⑥ 問13 「やさしい日本語」を知っているか

「聞いたことがない、知らない」の割合が最も高く70.0%である。次いで、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない（19.5%）」、「よく知っている、使ったことがある（9.7%）」である。

図表問13 「やさしい日本語」を知っているか



<2018年調査との比較>



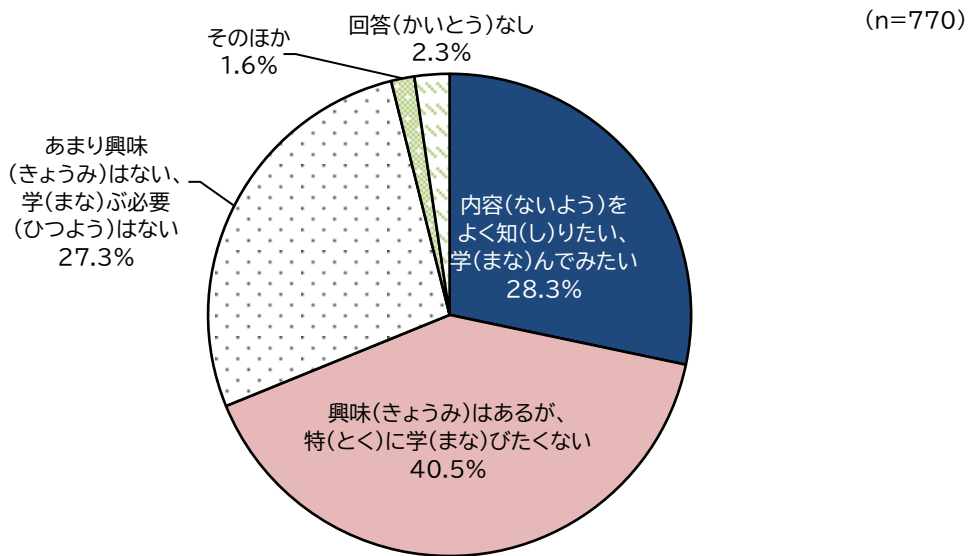
- よく知(し)っている、使(つか)ったことがある
- 聞(き)いたことはあるが、内容(ないよう)はよく知(し)らない
- 聞(き)いたことがない、知(し)らない
- 回答(かいとう)なし

⑦ 問13-1 「やさしい日本語」を知りたい、学びたいか

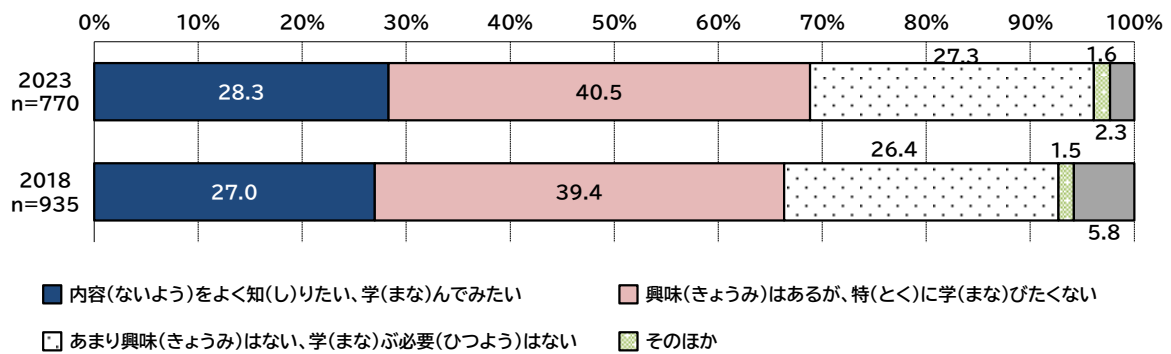
「興味はあるが、特に学びたくない」の割合が最も高く40.5%である。次いで、「内容をよく知りたい、学んでみたい（28.3%）」、「あまり興味はない、学ぶ必要はない（27.3%）」である。

図表問13-1 「やさしい日本語」を知りたい、学びたいか

問13で「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」、「知らない」と回答した人



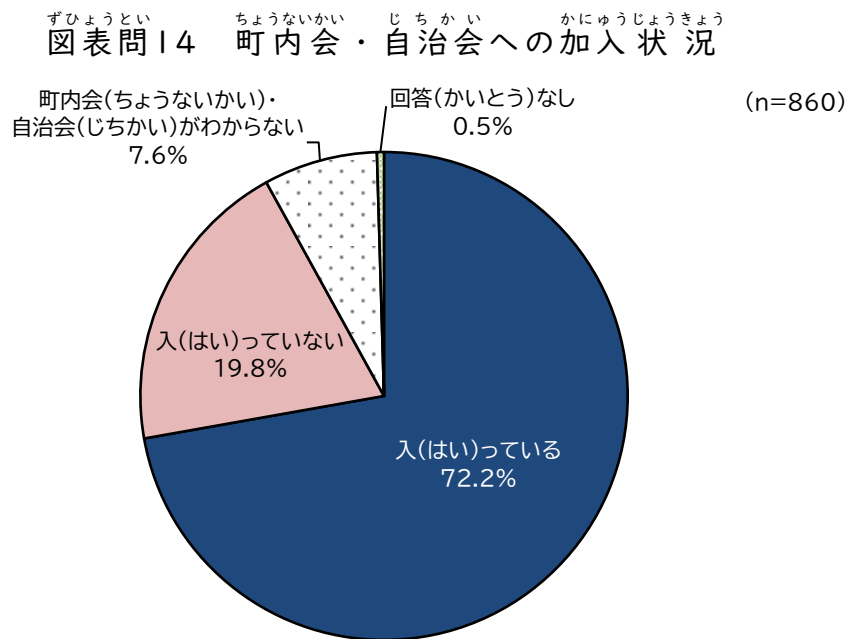
<2018年調査との比較>



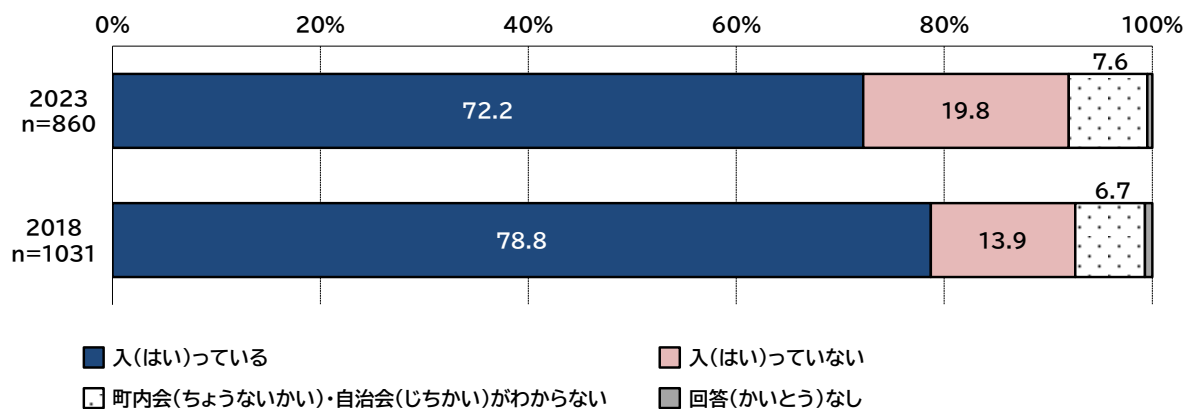
(4) 地域との関わりについて

① 問14 町内会・自治会への加入状況

「入っている」の割合が最も高く72.2%である。次いで、「入っていない(19.8%)」、「町内会・自治会がわからない(7.6%)」である。



<2018年調査との比較>



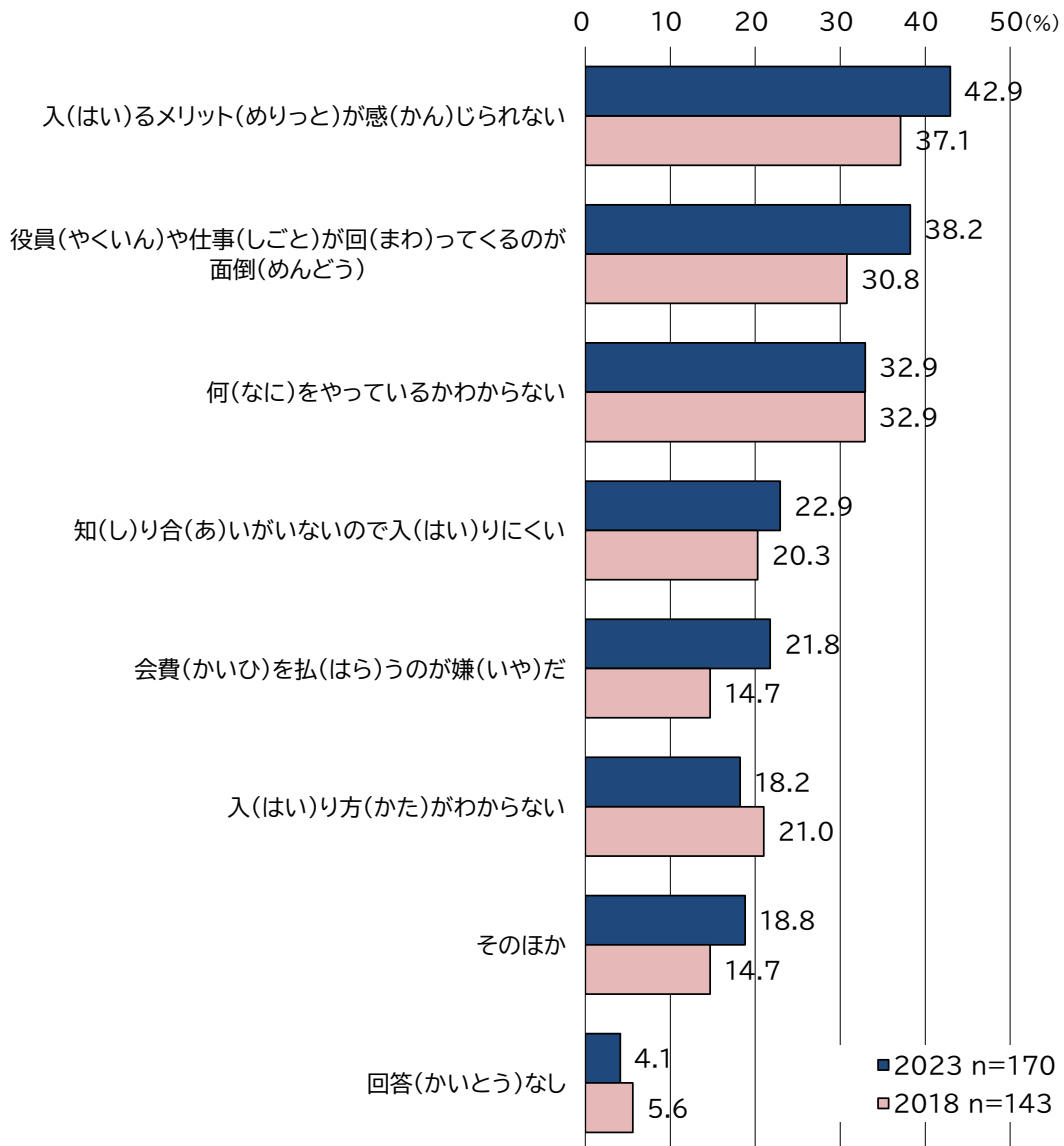
② 問14-1 町内会・自治会未加入の理由

「入るメリットを感じられない」の割合が最も高く42.9%である。次いで、「役員や仕事回ってくるのが面倒(38.2%)」、「何をやっているかわからない(32.9%)」である。

図表問14-1 町内会・自治会未加入の理由

<2018年調査との比較>

問14で「入っていない」と回答した人

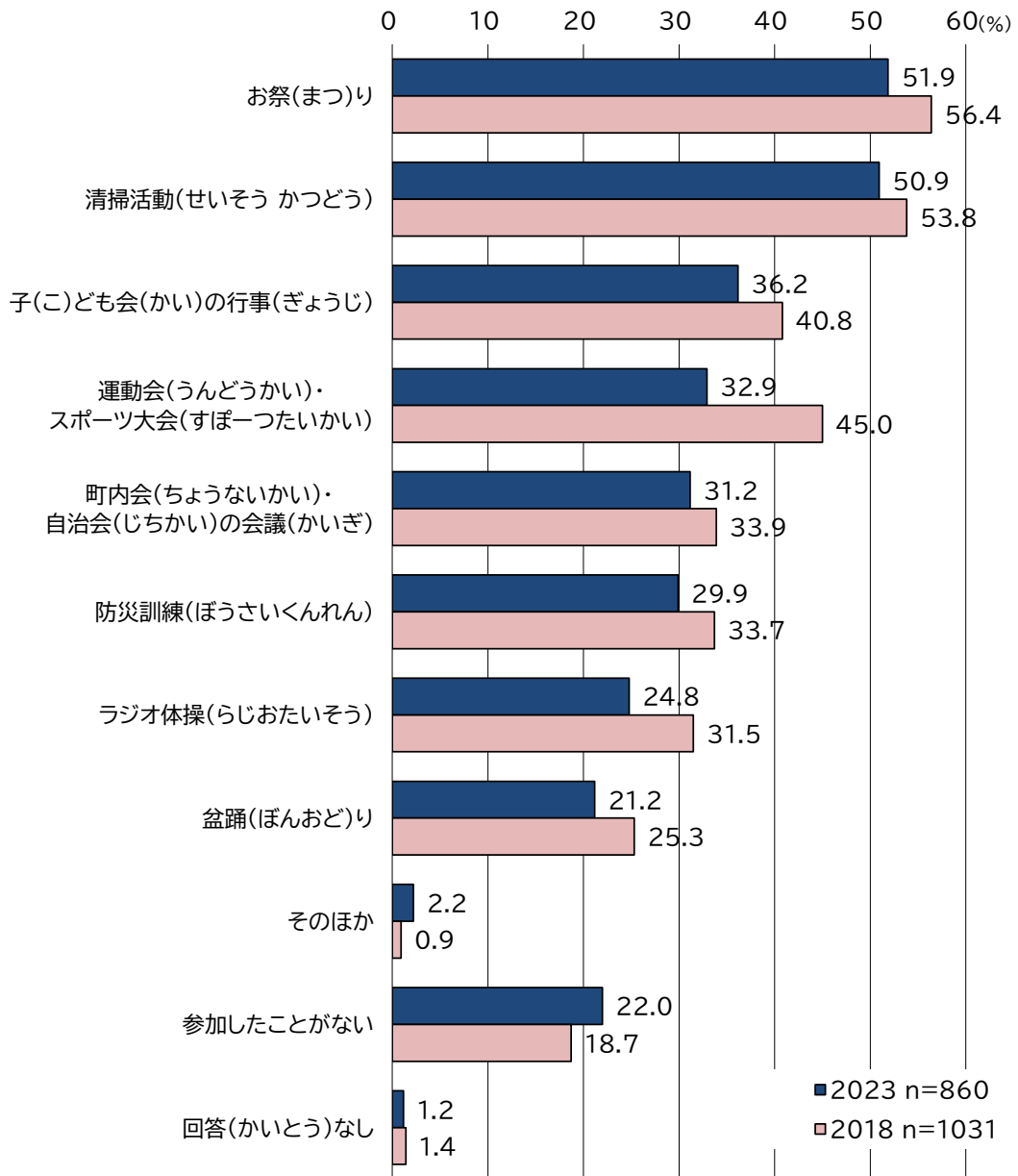


③ 問15 参加したことがある地域行事

「お祭り」の割合が最も高く51.9%である。次いで、「清掃活動(50.9%)」、「子ども会の行事(36.2%)」である。

図表問15 参加したことがある地域行事

<2018年調査との比較>



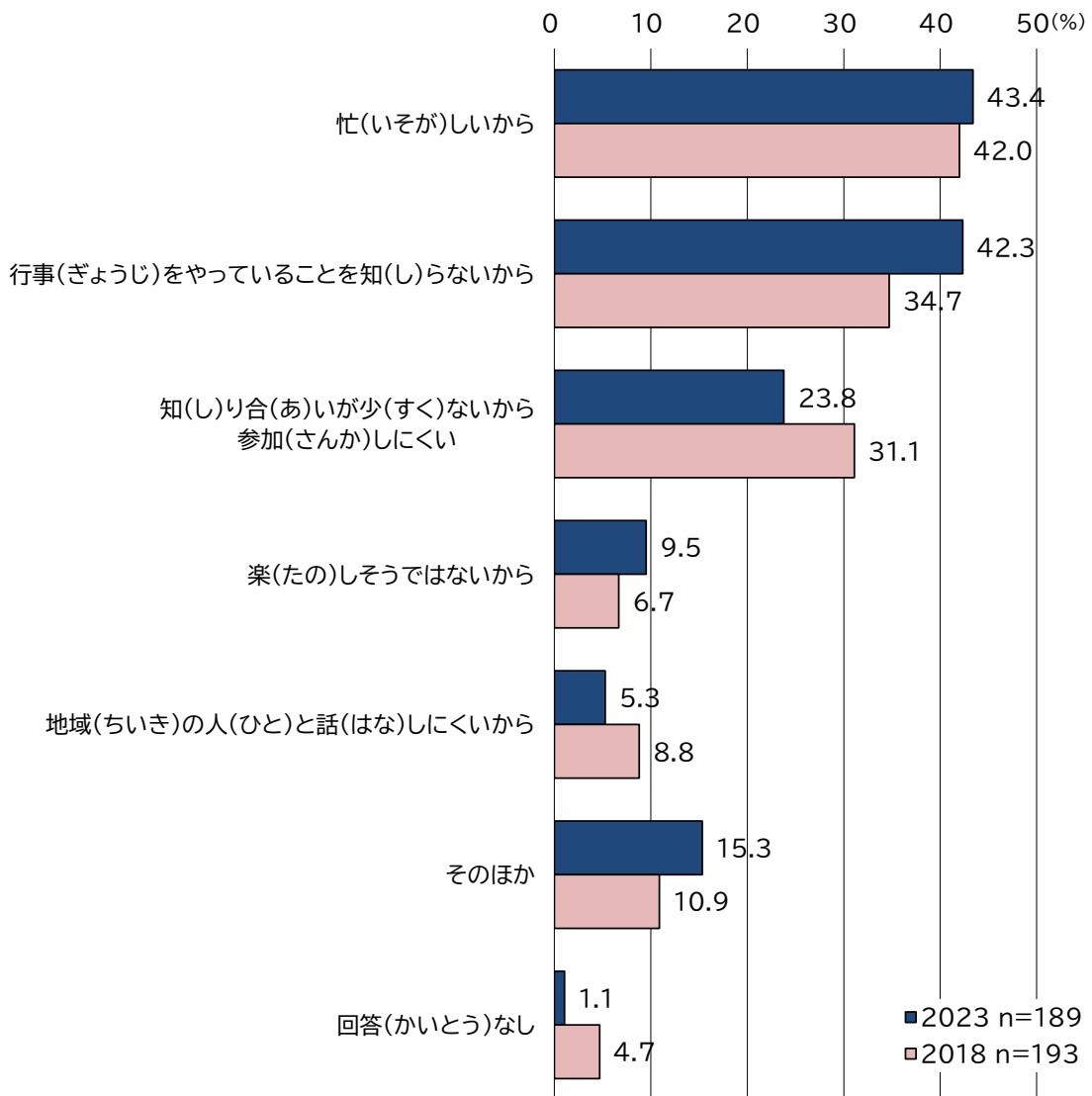
④ 問15-1 地域行事に参加したことがない理由

「忙しいから」の割合が最も高く43.4%である。次いで、「行事をやっていることを知らないから（42.3%）」、「知り合いが少ないから参加しにくい（23.8%）」である。

図表問15-1 地域行事に参加したことがない理由

<2018年調査との比較>

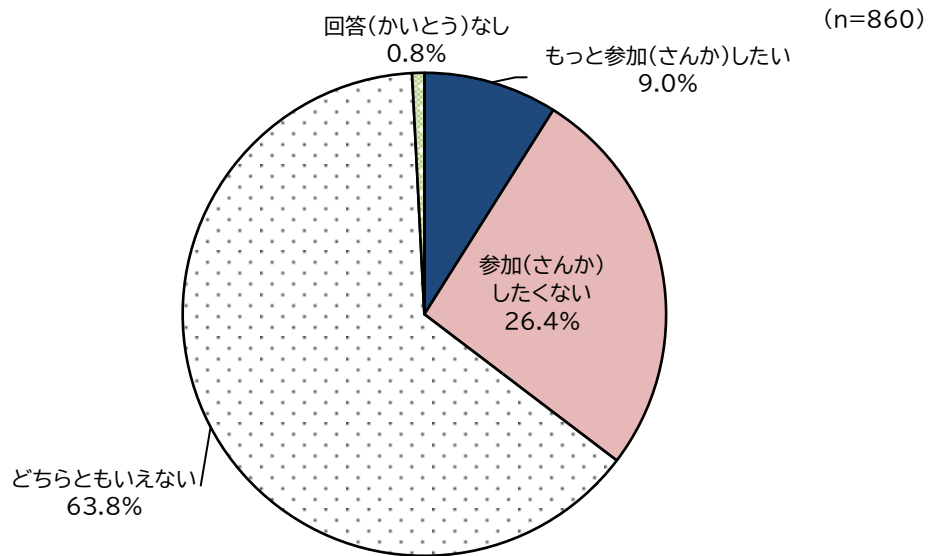
問15で「参加したことがない」と回答した人



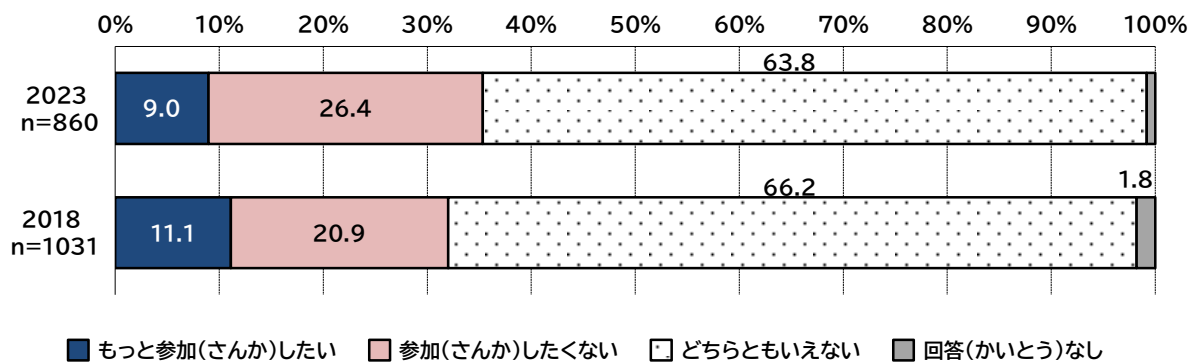
⑤ 問16 地域の行事への参加意向

「どちらともいえない」の割合が最も高く63.8%である。次いで、「参加したくない（26.4%）」、「もっと参加したい（9.0%）」である。

図表問16 地域の行事への参加意向



<2018年調査との比較>

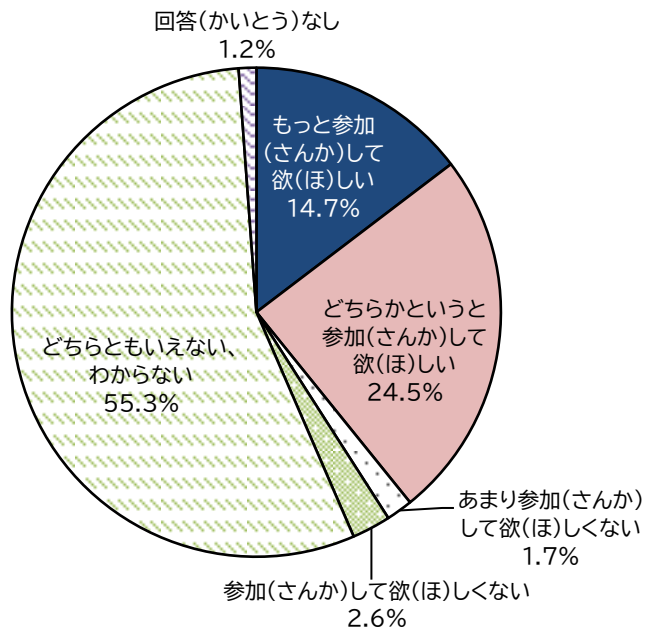


⑥ 問17 地域の行事等への外国人市民の参加について

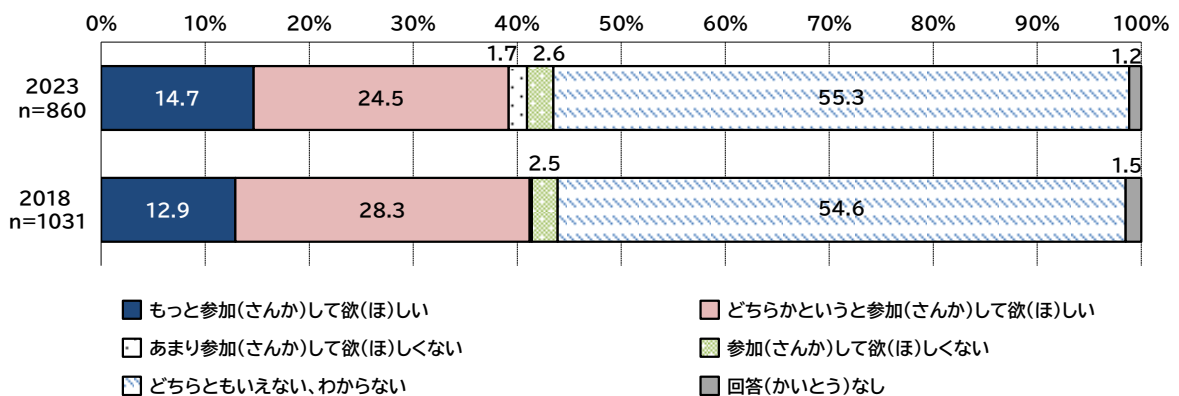
「どちらともいえない、わからない」の割合が最も高く 55.3%である。次いで、「どちらかというに参加して欲しい (24.5%)」、「もっと参加して欲しい (14.7%)」である。

図表問17 地域の行事等への外国人市民の参加について

(n=860)



<2018年調査との比較>

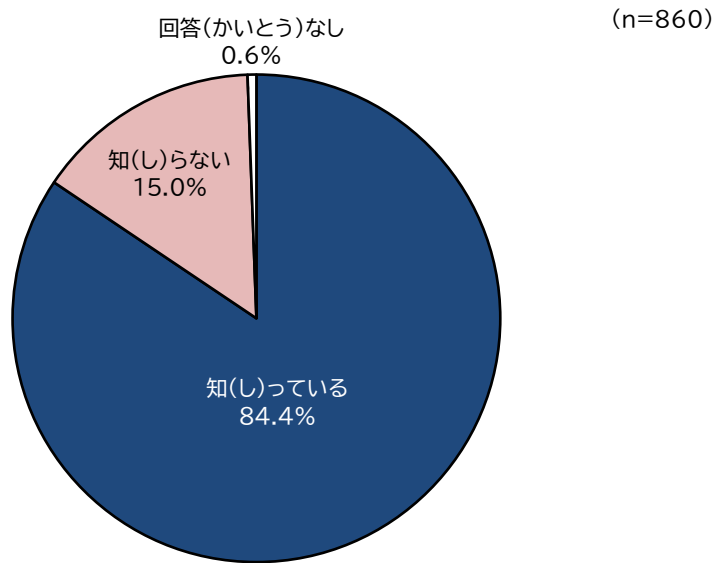


(5) 防災について

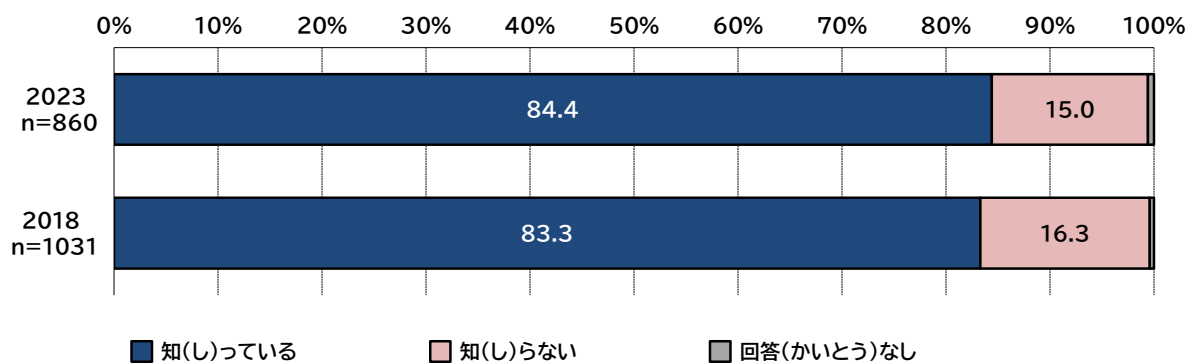
① 問18 避難所等の認知度

「知っている」の割合が最も高く84.4%である。次いで、「知らない(15.0%)」である。

図表問18 避難所等の認知度



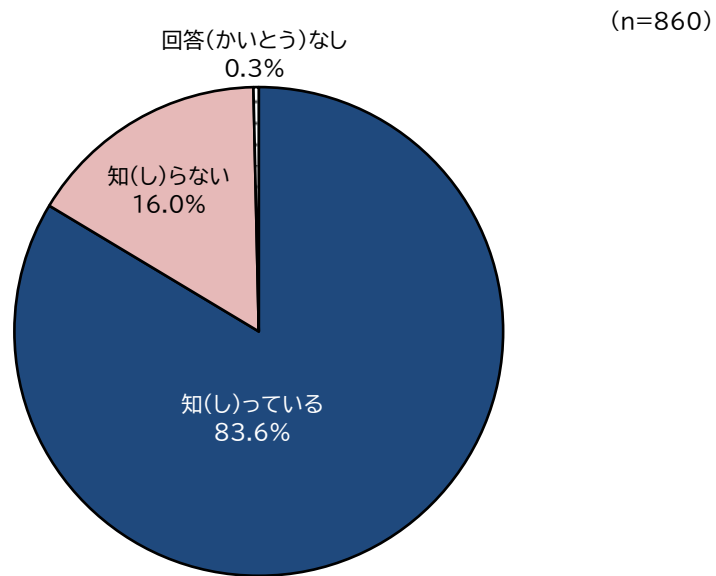
<2018年調査との比較>



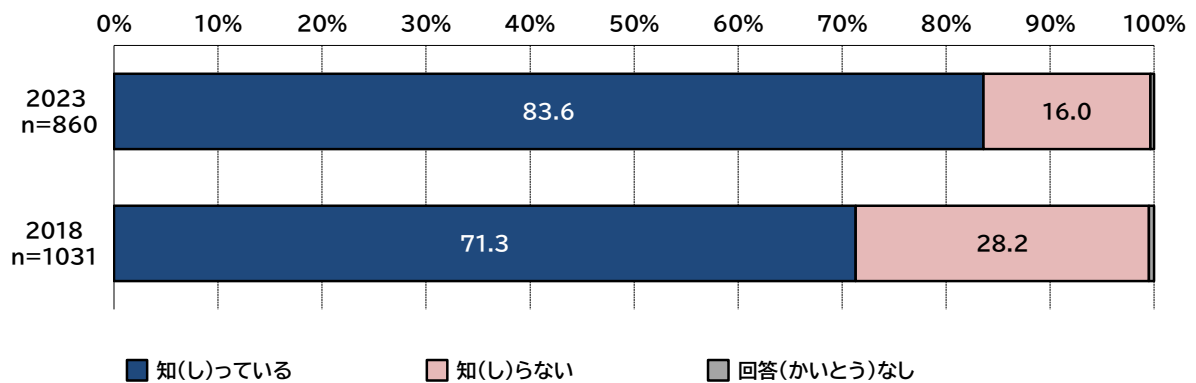
② 問19 「ハザードマップ」等の認知度

「知っている」の割合が最も高く83.6%である。次いで、「知らない（16.0%）」である。

図表問19 「ハザードマップ」等の認知度



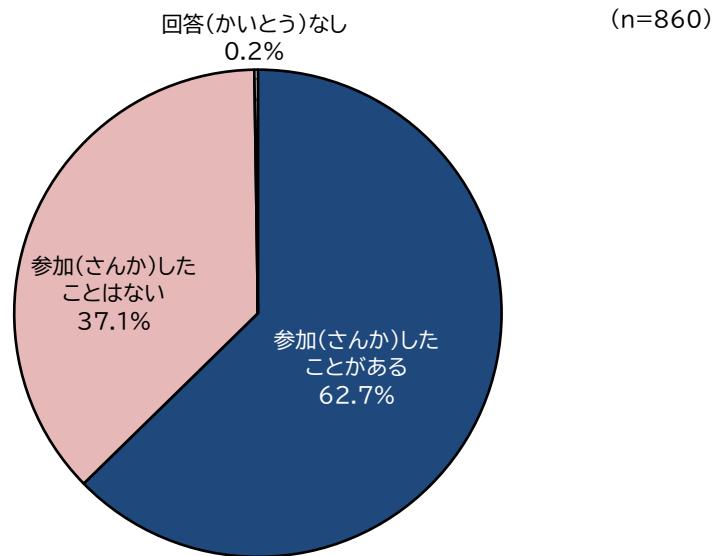
<2018年調査との比較>



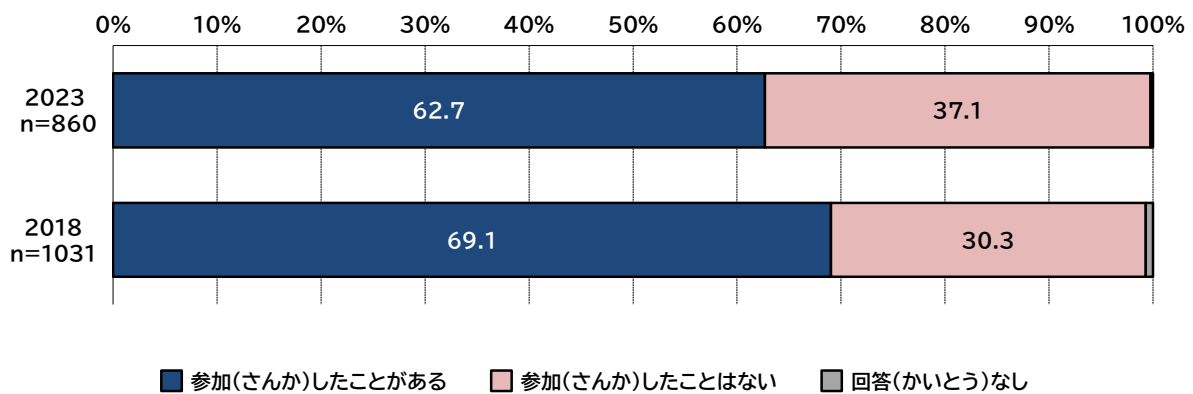
③ 問20 防災、避難訓練の参加の有無

「参加したことがある」の割合が最も高く62.7%である。次いで、「参加したことはない（37.1%）」である。

図表問20 防災、避難訓練の参加の有無



<2018年調査との比較>

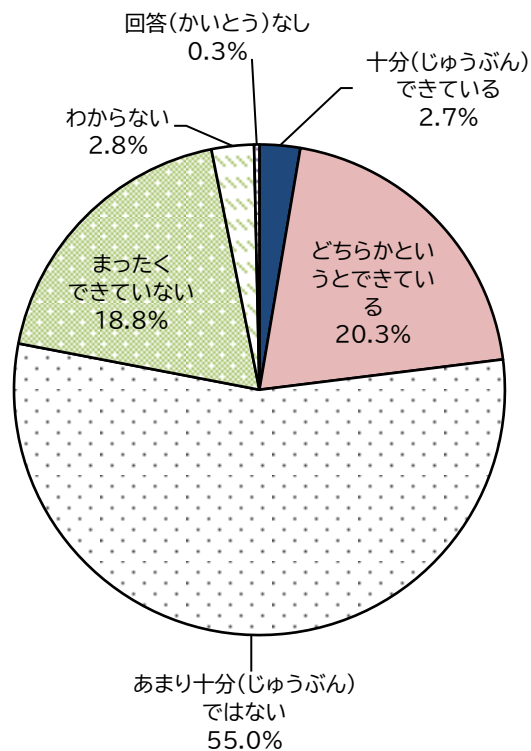


④ 問21 災害への準備状況

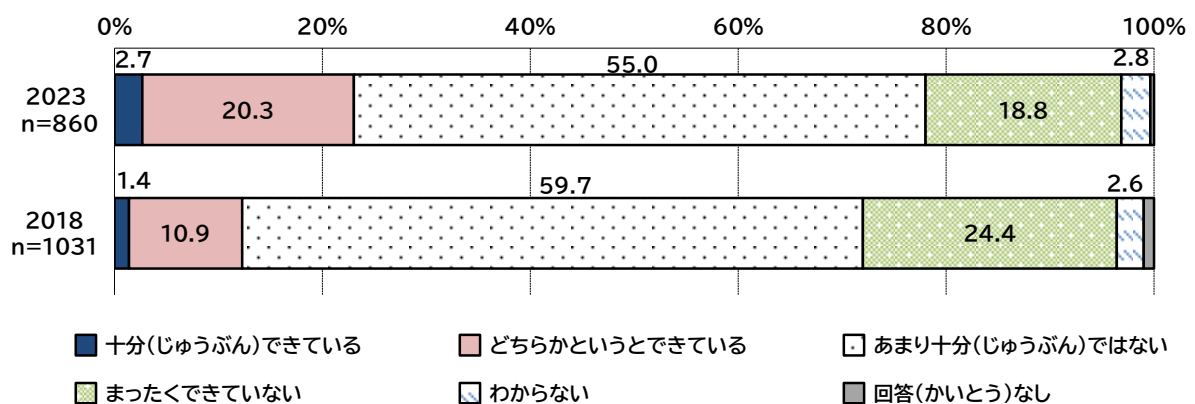
「あまり十分ではない」の割合が最も高く 55.0%である。次いで、「どちらかというとできている (20.3%)」、「まったくできていない (18.8%)」である。

図表問21 災害への準備状況

(n=860)



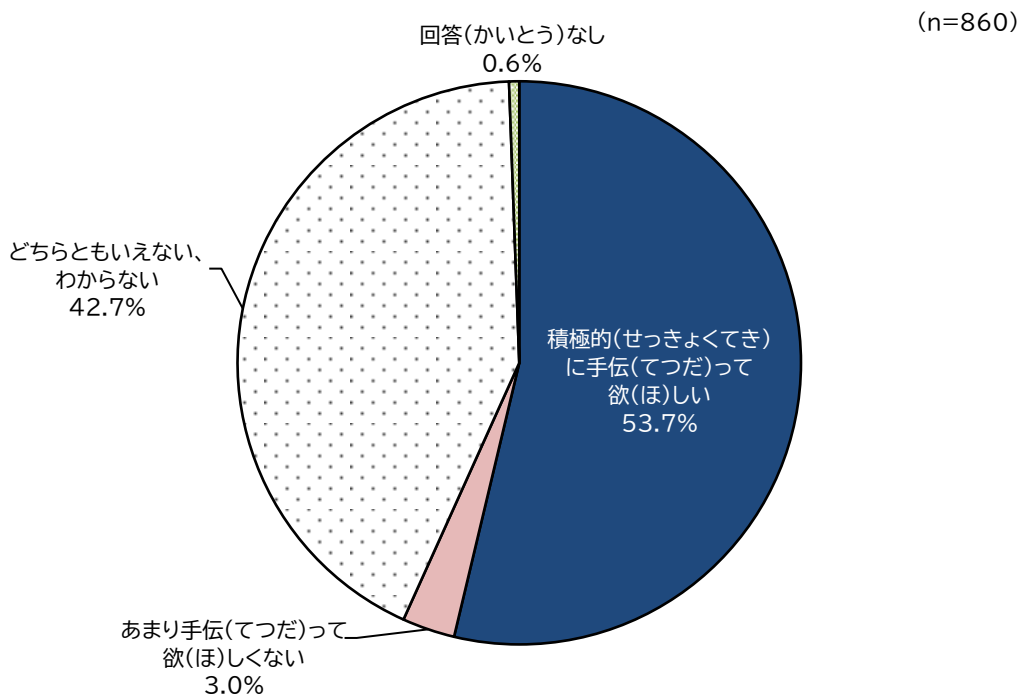
<2018年調査との比較>



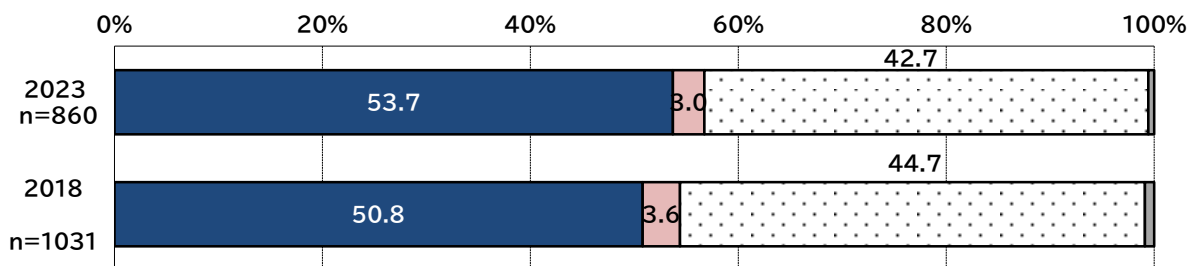
⑤ 問22 災害発生時の地域活動への外国人市民の参加について

「積極的に手伝って欲しい」の割合が最も高く 53.7%である。次いで、「どちらともいえない、わからない (42.7%)」、「あまり手伝って欲しくない (3.0%)」である。

図表問22 災害発生時の地域活動への外国人市民の参加について



<2018年調査との比較>



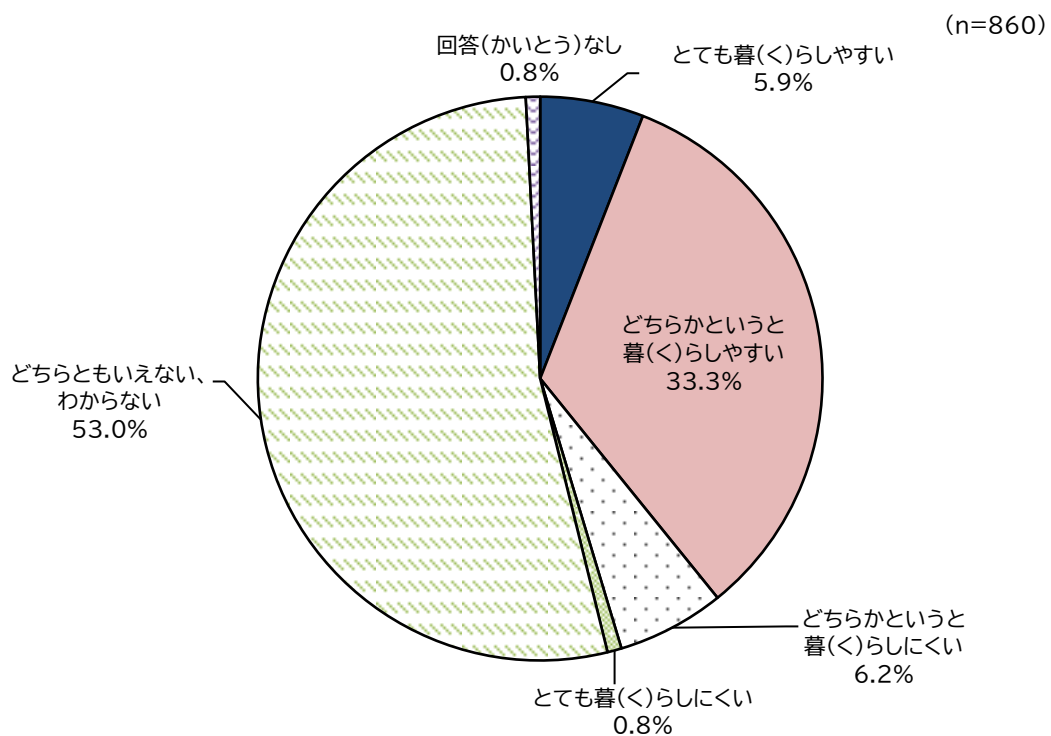
- 積極的に(せっきょくてき)に手伝(てつだ)って欲(ほ)しい
- あまり手伝(てつだ)って欲(ほ)しくない
- どちらともいえない、わからない
- 回答(かいとう)なし

(6) 外国人にとっての安城市の暮らしやすさについて

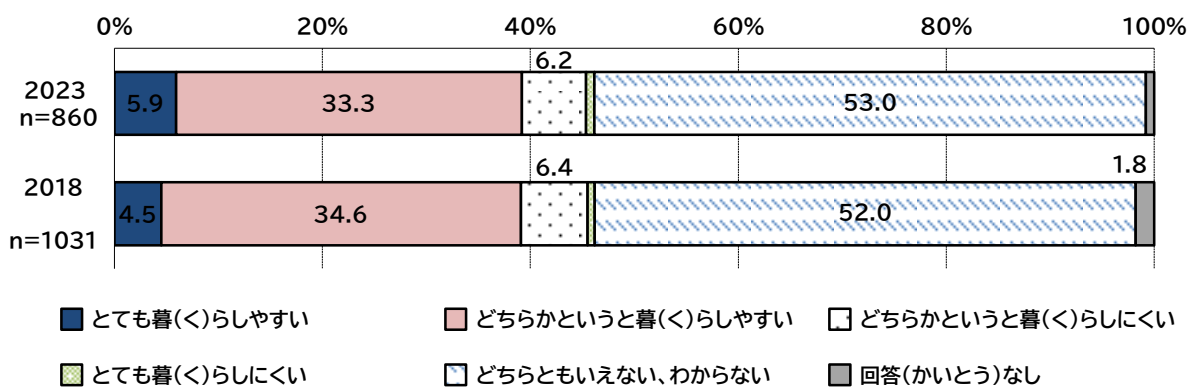
① 問23 外国人市民にとっての安城市の暮らしやすさについて

「どちらともいえない、わからない」の割合が最も高く53.0%である。次いで、「どちらかというとも暮らしやすい(33.3%)」、「どちらかというとも暮らしにくい(6.2%)」である。

図表問23 外国人市民にとっての安城市の暮らしやすさについて



<2018年調査との比較>

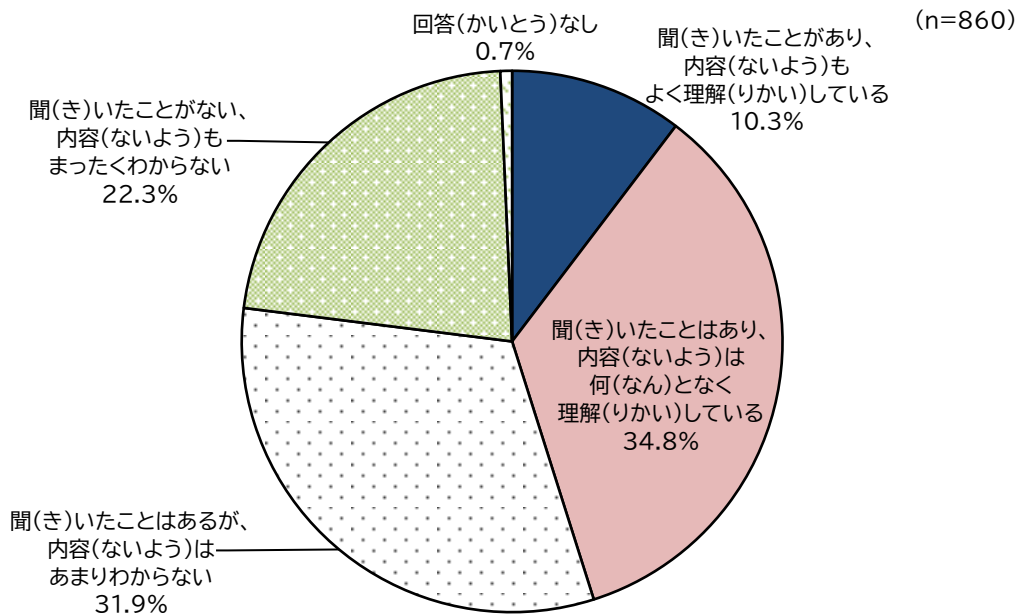


(7) 多文化共生の取組について

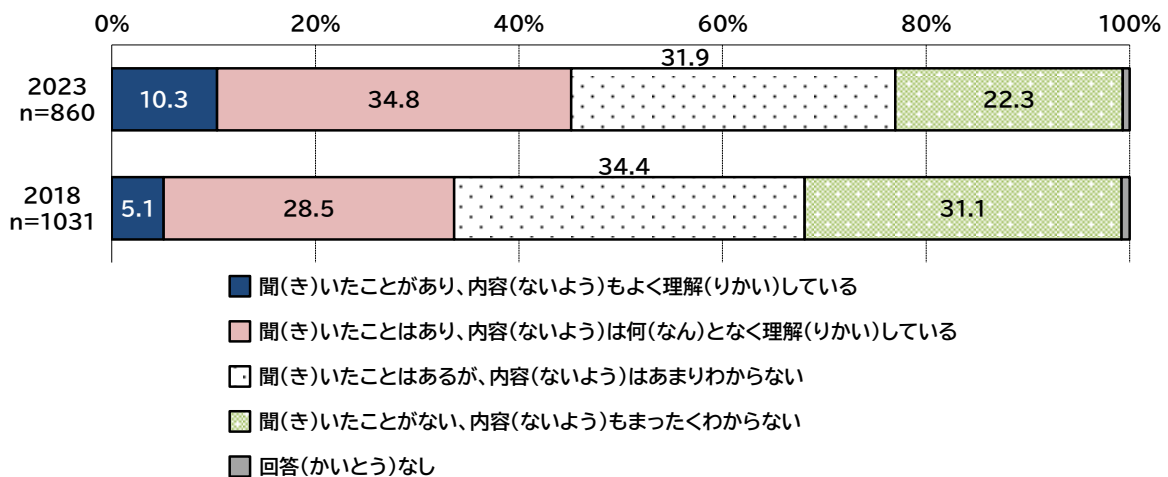
① 問24 「多文化共生」という言葉の理解

「聞いたことはあり、内容は何となく理解している」の割合が最も高く34.8%である。次いで、「聞いたことはあるが、内容はあまりわからない(31.9%)」、「聞いたことがない、内容もまったくわからない(22.3%)」である。

図表問24 「多文化共生」という言葉の理解



<2018年調査との比較>

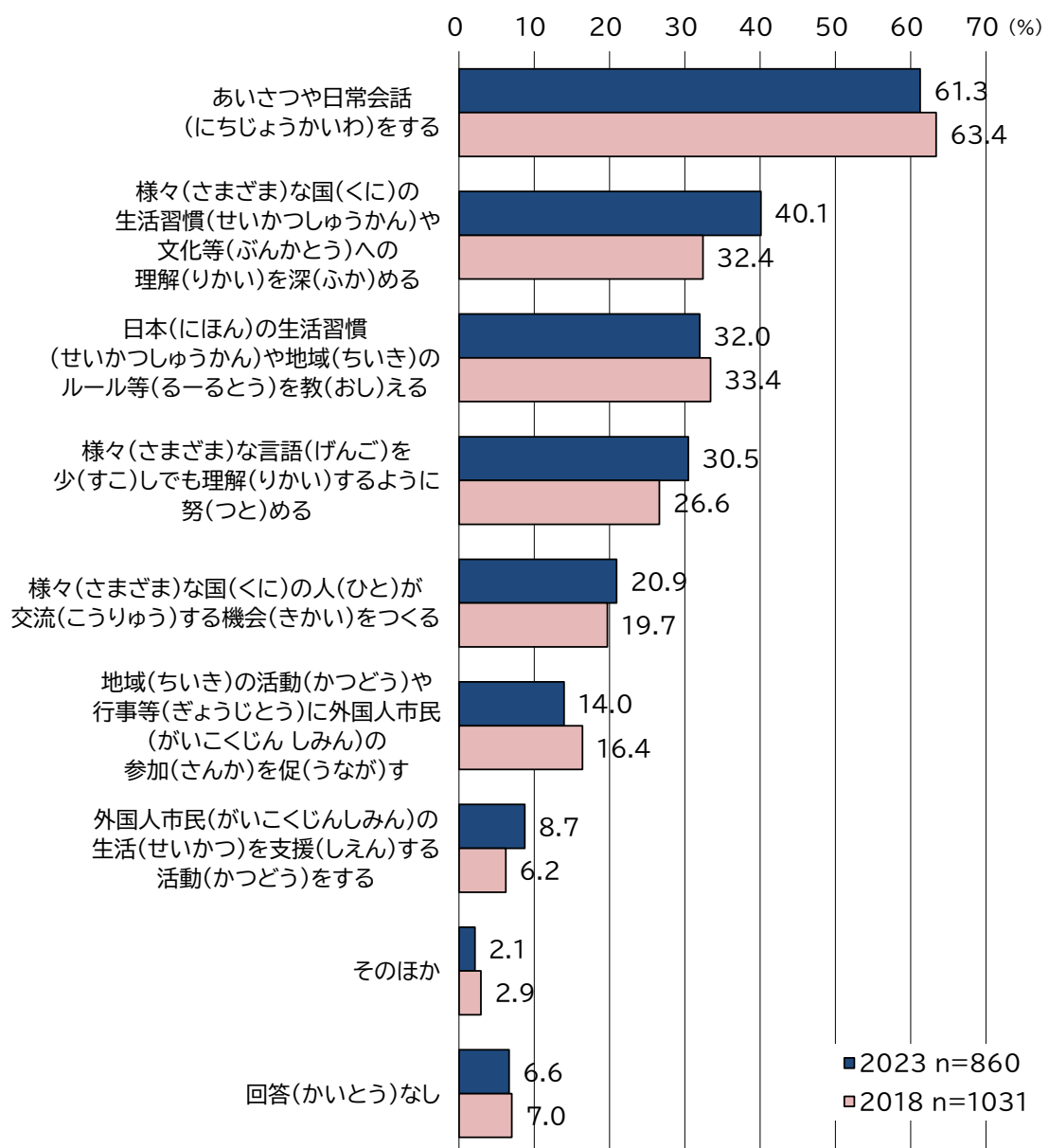


② 問25 外国人市民のために実践していること

「あいさつや日常会話をする」の割合が最も高く61.3%である。次いで、「様々な国の生活習慣や文化等への理解を深める（40.1%）」、「日本の生活習慣や地域のルール等を教える（32.0%）」である。

図表問25 外国人市民のために実践していること

<2018年調査との比較>

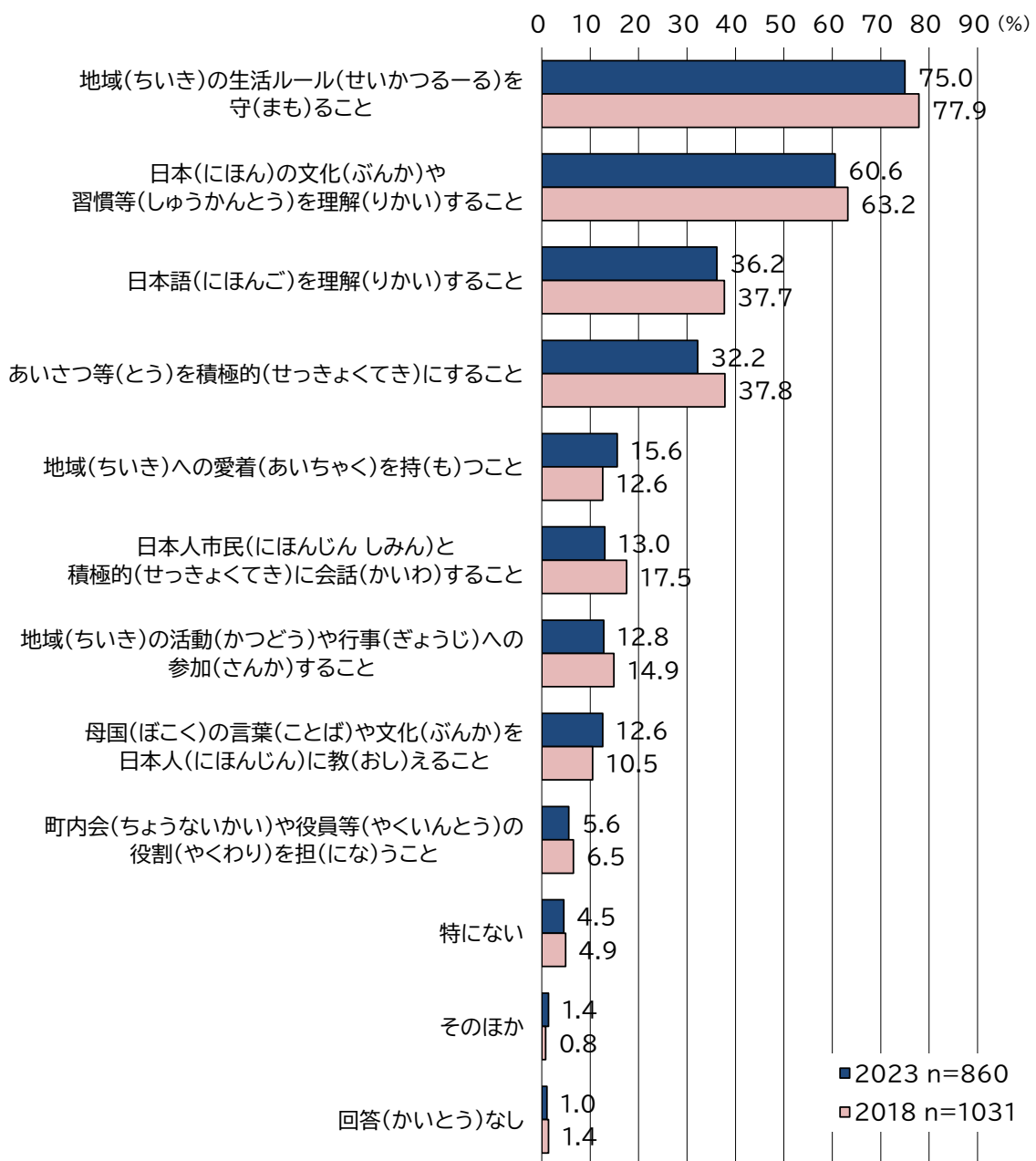


③ 問26 外国人市民にも努力して欲しいこと

「地域の生活ルールを守ること」の割合が最も高く75.0%である。次いで、「日本の文化や習慣等を理解すること（60.6%）」、「日本語を理解すること（36.2%）」である。

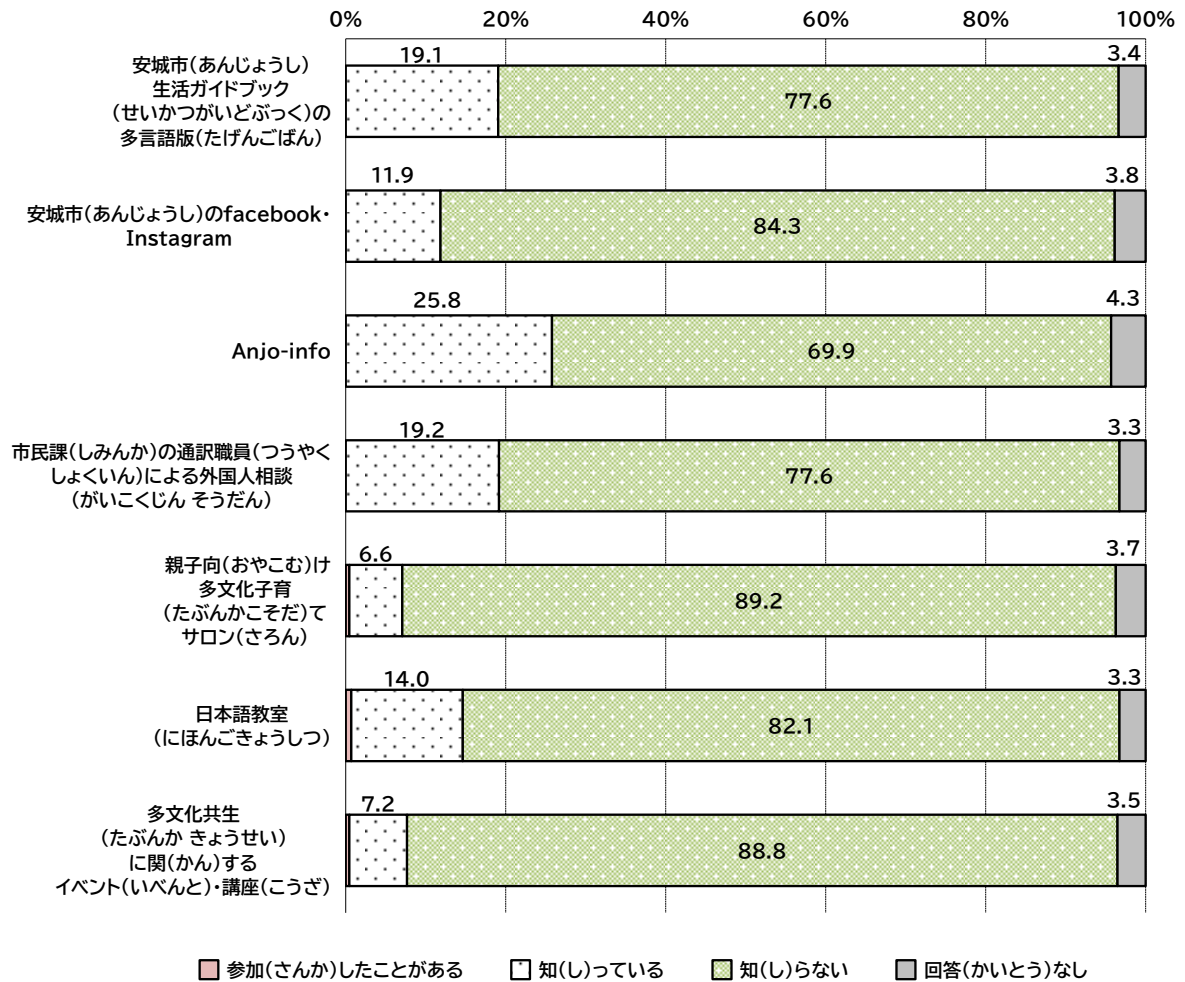
図表問26 外国人市民にも努力して欲しいこと

<2018年調査との比較>



④ 問27 安城市の外国人支援、多文化共生の取組の利用・認知

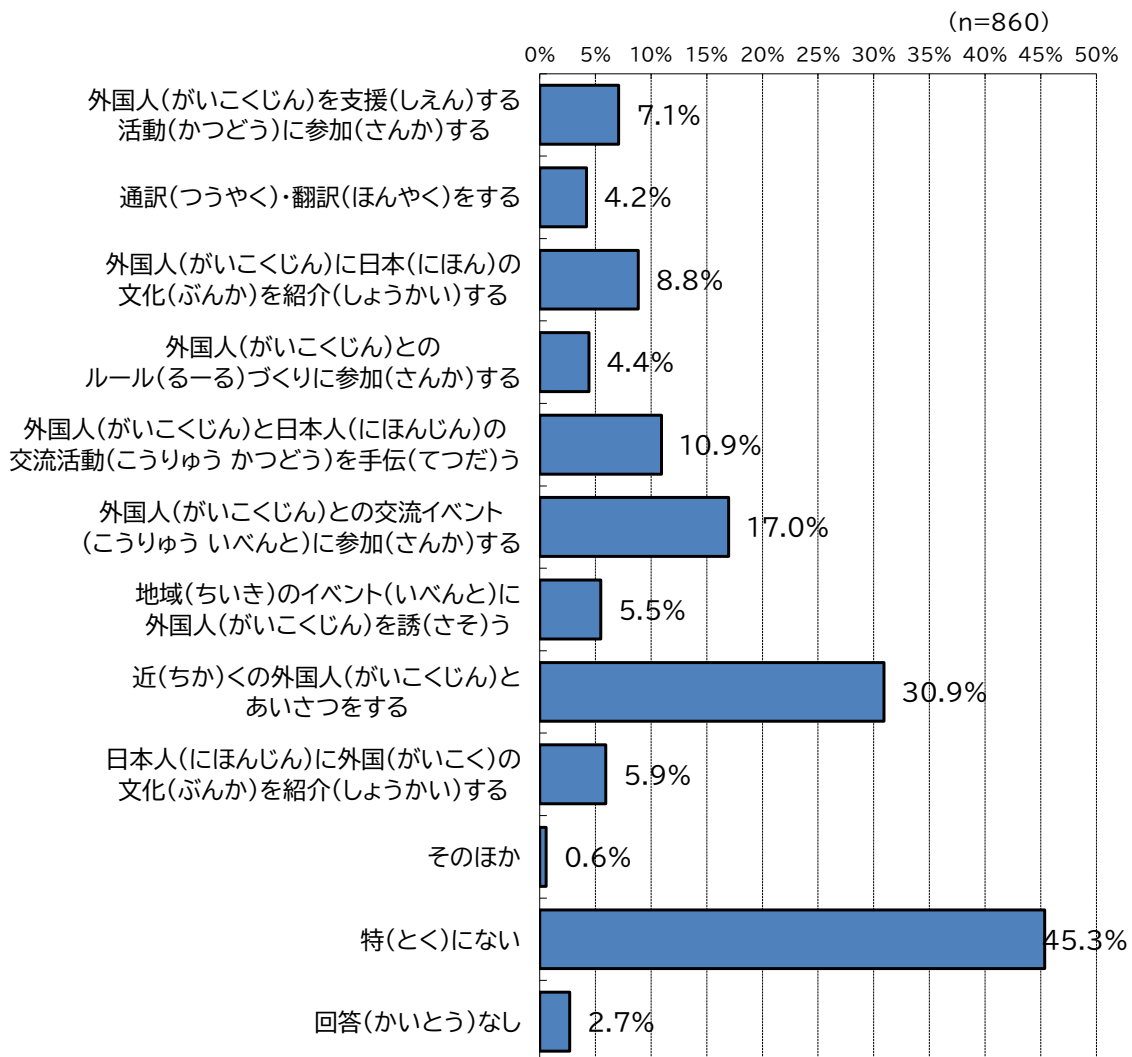
図表問27 安城市の外国人支援、多文化共生の取組の利用・認知



⑤ 問28 参加したい多文化共生の取組

「特(とく)にない」の割合が最も高く45.3%である。次いで、「近(ちか)くの外国人(がいこくじん)とあいさつをする(30.9%)」、「外国人(がいこくじん)との交流イベント(こうりゅういべんと)に参加(さんか)する(17.0%)」である。

図表問28 参加したい多文化共生の取組

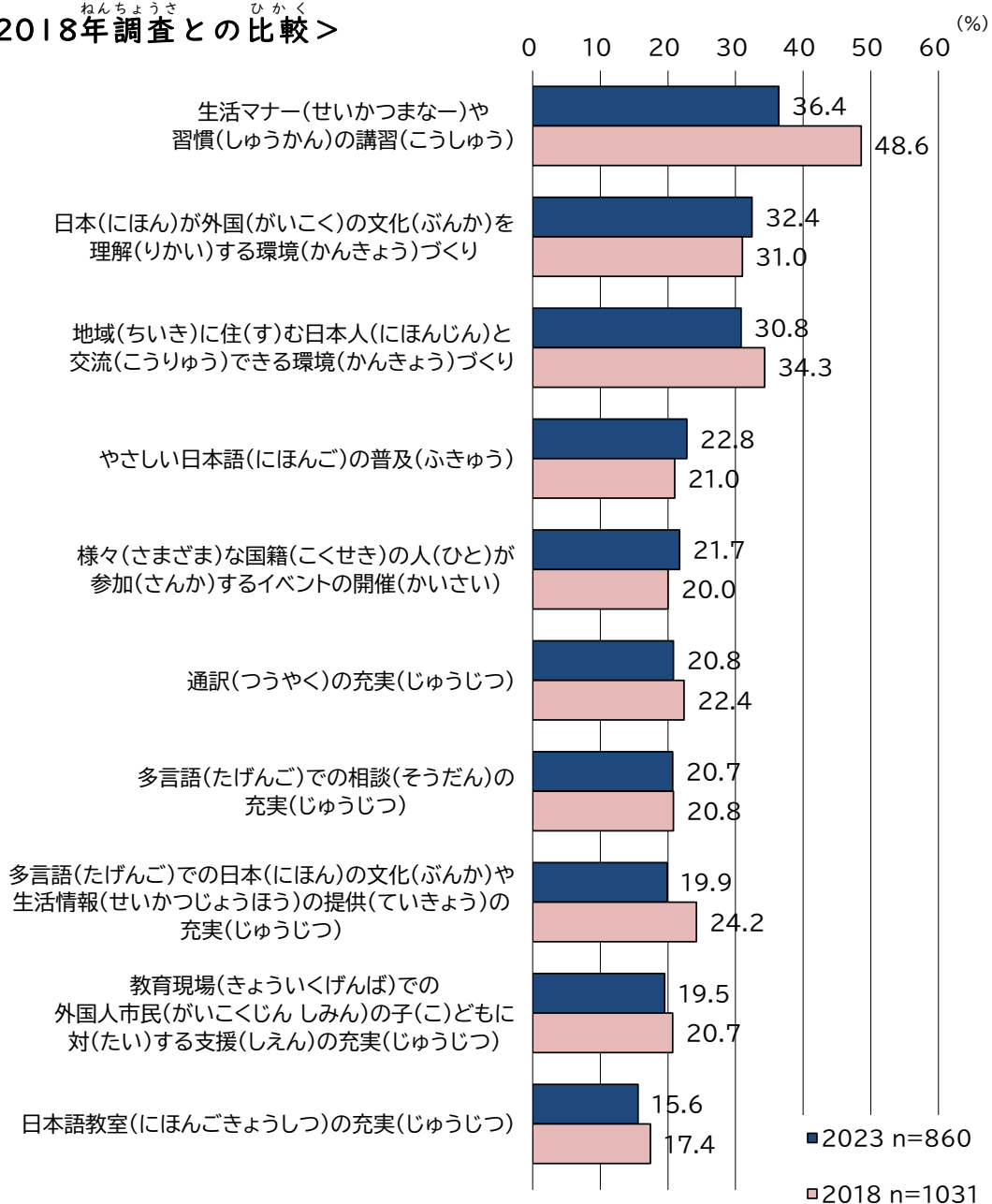


⑥ 問29 多文化共生を進めるため必要な取組

「生活マナーや習慣の講習」の割合が最も高く36.4%である。次いで、「日本が外国の文化を理解する環境づくり(32.4%)」、「地域に住む日本人と交流できる環境づくり(30.8%)」である。

図表問29 多文化共生を進めるため必要な取組

<2018年調査との比較>



ずひょうとい 多文化共生を進めるため必要な取組 (つづき)

